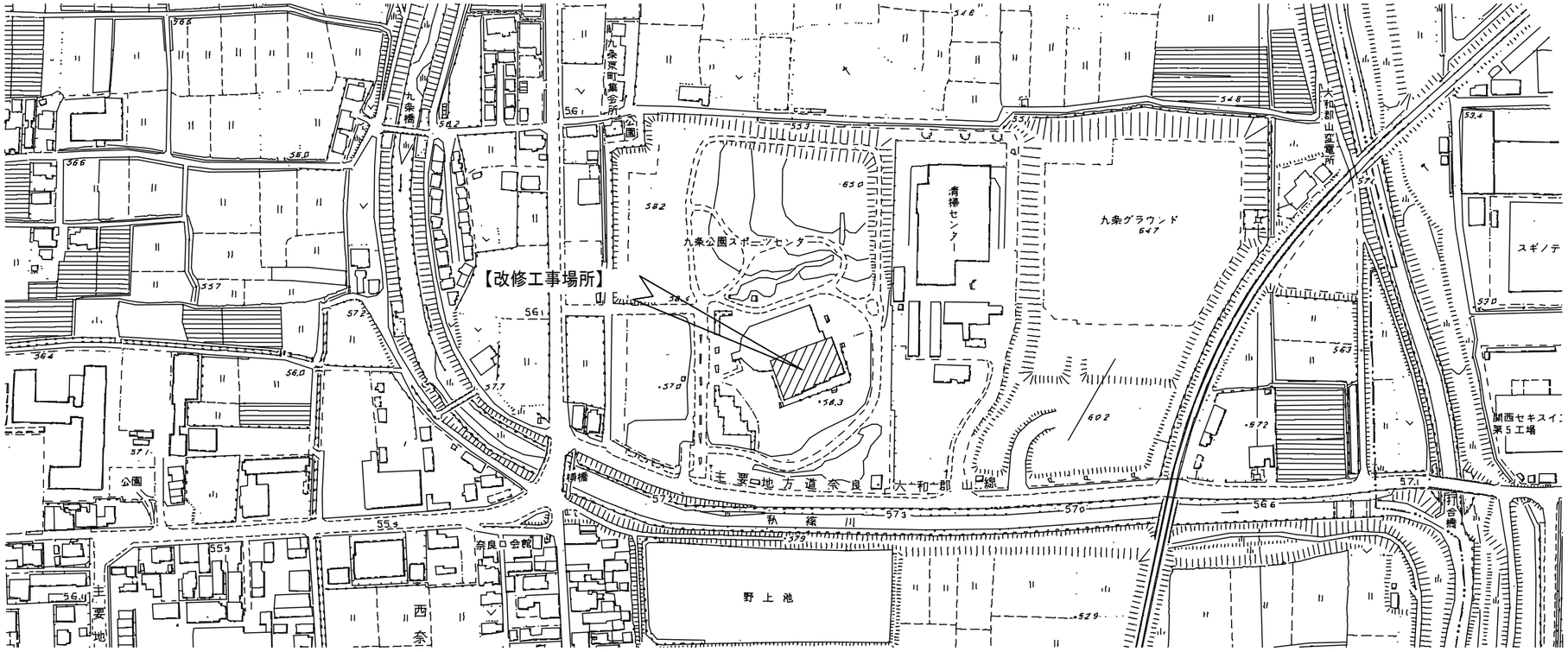
九条公園プール更新工事

設計図

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

YARD吉村建築設計

図　番		図面名称	図　番	図面名称	図　番		図面名称	図　番		図面名称
建築工事	A -01	図面リスト・付近見取図	A-21	既設プールハツリ・コア抜き						
	-02	特記仕様書－１	-22	アンカープラン						
	-03	特記仕様書－２	-23	ノズル配置図						
	-04	特記仕様書－３	-24	既設プール全体・断面図①						
	-05	特記仕様書－４	-25	既設プール全体・断面図②						
	-06	特記仕様書－５	-26	既設プール全体・断面図③						
	-07	仕上表	-27	部品図						
	-08	仮設計画図	-28	塗装仕様書						
	-09	仮設計画図-2								
	-10	１階平面図								
	-11	１階現況図								
	-12	ピット配管現況図								
	-13	１階ピット配管撤去図								
	-14	立面図-1								
	-15	立面図-2								
	-16	断面図								
	-17	矩計詳細図								
	-18	新設プール本体仕様書・全体図								
	-19	既設プール全体・断面図								
	-20	既設プール全体・断面図②								



Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第 2012 (に) １５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME: 図面リスト / 付近見取図　Scale 1:2500

DRAWING NO. A-01

九条公園プール更新工事特記仕様書

1.工事概要

1．工事場所　　大和郡山市九条町 地内

2．建物概要　　体育館付き屋内プール　RC造　一部鉄骨造
敷地面積：45,887㎡ 建築面積2,680.71㎡
床面積：3,797.26㎡ 内プール部分床面積 957㎡
付属室床面積：220㎡
プール棟高さ：14.4m　完成年　平成2年

3. 工事種目　　プール改修工事・プールサイド改修工事

Ⅱ．建築改修工事仕様

1．共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。　ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版」（以下「標準仕様書」という。）による。

（2）全ての設計図書は、相互に補完する。設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、1 質問回答書（2から5までに対するもの），2 現場説明書，3 特記仕様書，4 図面，5 改修標準仕様書とし、これにより難い場合は、（3）による。

（3）設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
　○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。
　○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の［　］内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
　（　）内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 改修工事一般事項	① 適用基準等	⊙建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) ⊙建築改修工事監理指針上･下　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) ⊙建築工事監理指針上･下　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) ※建築物解体工事共通仕様書　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) ※県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携　奈良県県土マネジメント部 ※建築及び設備工事監督･検査事務処理様式集　奈良県県土マネジメント部
	② 官公署その他への届出手続等	[1.1.3] (1)工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を直ちに行う。なお、届出内容について、あらかじめ監督職員に報告する。 (2)関係法令等に基づく官公署その他の関係機関の検査に必要な資機材、労務等を提供する。
	③ 工事実績情報の登録	※適用する　[1.1.4]
	④ 実施工程表	[1.2.1] 工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。 実施工程表を変更する必要が生じた場合は、施工等に支障がないよう実施工程表を直ちに変更し、当該部分の施工に先立ち、監督職員の承諾を受ける。
	⑤ 施工計画書	[1.2.2] (1)工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書（総合施工計画書）を作成し、監督職員に提出する。 (2)品質計画、施工の具体的な計画並びに一工程の施工の確認内容及びその確認を行う段階を定めた施工計画書（工種別施工計画書）を、工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。 また、品質計画に係る部分について変更が生じる場合は、監督職員の承諾を受ける。 (3)(1),(2)の施工計画書のうち、品質計画に係る部分については、監督職員の承諾を受ける。
	⑥ 発生材の処理等	⊙県内処分場にて処理する。（安定5品目）　半径（ 50 ）km.以内 ・引渡しを要するもの（　　　）　[1.3.12] 　特別管理産業廃棄物　改修特記仕様書　10章による ・現場において再利用を図るもの 　（　　　） ・再生資源化を図るもの（県内処理） 　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材 ⊙再生資源化を図るもの 　○金属類　・小型二次電池 　・蛍光ランプ、ＨＩＤランプ　・硬質ポリ塩化ビニル管、継手　・ガラス　○ ※再生資源利用［促進］計画(実施)書を提出する。 ※産業廃棄物の処理 　関係法令に従い構外排出適切処理とし、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提出する。 　なお、県内の最終処分場に搬入することとなる場合は、奈良県産業廃棄物税相当額を支払うこと。 処理に注意を要する建設廃棄物 　・ＣＯＡ処理木材 　・ひ素、カドミウム含有石膏ボード
	⑦ 電気保安技術者	※適用する　[1.3.3]
	⑧ 施工条件	※現場説明書による　・　[1.3.5]
	⑨ 建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合には、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。但し、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」による。
	⑩ 特別な材料の工法	※ホルムアルデヒド放散等級Ｆ☆☆☆☆の規格に適合するものを使用する。 ※ＶＯＣ発生量の少ないものを使用する。 ※アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が少ないものを使用する。 ※トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものを使用する。 改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
	11 施工調査	施工数量調査 調査範囲　・図示　・　[1.5.2] 調査方法　・図示　・　[1.5.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　[1.5.3] ・図示　・
	12 技能士	[1.6.2]（下表）

技能検定の職種	作業の種別
防水改修工事（・防水施工　・左官　・建築板金）	・全て　・
外壁改修工事（・左官　・ﾀｲﾙ張り　・塗装 ・樹脂接着剤注入施工　）	・全て ・
建具改修工事（・サッシ施工　・ガラス施工 ・建具製作　）	・全て ・
内装改修工事（・内装仕上げ施工　・タイル張り ・表装　・左官　・建築大工　）	・全て ・
塗装改修工事（・塗装　・左官　）	・全て　・
耐震改修工事（・鉄筋施工　・型枠施工　・とび ・左官　・コンクリート圧送施工　）	・全て ・

13 化学物質の濃度測定

※室内空気中の化学物質の濃度測定については、平24国営整第４号「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」及び「学校環境衛生基準」に基づく化学物質を対象とするものとし、室内濃度指針は次による。　（室温２５℃に換算すること。）　[1.6.9]
ホルムアルデヒド：0.08 ppm　エチルベンゼン：0.88 ppm
トルエン：0.07 ppm　キシレン：0.05 ppm
スチレン：0.05 ppm　パラジクロロベンゼン：0.04 ppm
※施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い報告する。
・着工前及び施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い報告する。

測定方法	・パッシブ型採取機器　・
測定対象室	室内プール　管理室　更衣室
測定箇所数	3か所　1か所　1か所

14 中間技術検査

・行う　[1.7.2]
　検査の時期
　・県土マネジメント部建築工事の監督及び検査の実施に関する取り扱い要領による
　・
・行わない

⑮ 完成時の提出図書

⊙完成図（施工図、施工計画書を除く）
⊙完成図ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ等）
⊙施工図、施工計画書
⊙保全に関する資料（提出部数　1部　・　部）
⊙工事写真、各種承諾図、保証書等

⑯ 完成図

完成図の作成方法
※請負者に於いて設計図に基づき全ての図面を完成図として作成（設計図第２原図訂正可）し、糊張製本図面（3）部提出する。
なお、製本図面サイズは監督員の指示とする。
※完成図は､原則として黒文字製本とし､表紙の書き方は監督員の指示とする。
・改修標準仕様書表1.8.1による

⑰ 工事写真・完成写真

[1.2.4]
※工事写真　奈良県県土マネジメント部監修　工事写真の撮影マニュアルによる。

区分	分類・規格	撮影枚数	部数	備考
※着工前	⊙作業基準による	⊙作成基準による	1	
※工事中	同上	同上	1	
※完成時	⊙カラーサービス判	･0 ･6 ･9　○	1	
	・カラーキャビネ判	監督員指示による		
	・カラーパネル半切	･0 ･1 ･2		

（ただし、上記写真は、アルバム製本とする。）
・完成写真として、全紙パネルを（　）部提出する。
・完成写真撮影業者（完成写真撮影場所は監督員の指示による）
　・監督員の承諾する撮影業者。

⑱ 設備工事との取合い

施工範囲
⊙図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
⊙図示した壁、天井仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強
・駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ
・自動閉鎖装置取付の箇所の切り込み及び補強
・設備機器の位置､取り合い等が検討できる施工図を提出して監督員の承諾を受ける。

⑲ 設計ＧＬ

⊙図示　・

20 六価クロム溶出試験等

※六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)
本工事は「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工種についての六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出する。
なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領による。
六価クロム溶出試験対象工法名及び検体数
　工　法　：　配合設計段階　検体、施工後段階　検体
　工　法　：　配合設計段階　検体、施工後段階　検体
　　合計　検体
タンクリーチング試験対象工法名及び検体数
　工　法　：　検体
　工　法　：　検体
　　合計　検体

㉑ 環境への配慮

ホルムアルデヒドの放散量が「規制対象外」に該当する材料とは以下のものとする。　[1.4.1]
1）JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
2）建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
3）下記表示のあるJAS規格品
　a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用
　b.接着剤等不使用
　c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
　d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
　e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
　f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
ホルムアルデヒドの放散量が「第三種」に該当する材料とは以下のものとする。
1）JIS及びJASのF☆☆☆規格品
2）建築基準法施行第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
3）旧JISのEo規格品
4）旧JASのFco規格品
アスベスト含有建材
本工事に使用する材料については、標準仕様書1.3.11(b)に準じて、JIS Z 7253による安全データシート(SDS)等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

② 仮設工事

① 足場その他

内部足場　[2.2.1]
※きゃたつ、足場板等　・
外部足場　[2.2.1]
種類　※施工箇所面に枠組足場を設ける。
・施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける。
・施工箇所面に単管本足場を設ける。
・仮設ゴンドラを使用する。
・移動式足場を使用する。
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
防護シートによる養生　・養生○ート（防炎1類）　・防音シート　[2.2.1]
　・朝顔養生　・棚足場○(プール内部)
[2.2.1][表2.2.1]
・Ａ種　・⊖種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種

② 既存部分の養生

[2.3.1]
既存ブラインド，カーテン等の養生方法及び保管場所等　[2.3.1]
・
固定された備品、机、ﾛｯｶｰ等の移動　[2.3.1]
・行う（図示）
既存部分おける既存家具等の養生　[2.3.1]
※ビニルシート等による　・

仮設間仕切りの種別　[2.3.2][表2.3.1]

種別	材質	片面への塗装
※Ｃ種	シート張り	――
・Ｂ種	・合板張り（厚さ　※9.0　・　）	・行う
・Ａ種	・せっこうボード張り（厚さ　※9.5　・　）	

仮設扉の種別　[2.3.2]
※木製扉、合板張り程度　・

3 監督職員事務所

・設ける　[2.4.1]
位置　・既存建物内の一部を使用する
　・⊛内に新設する
規模　・10㎡⊛度　・20㎡程度　・30㎡程度　・　㎡程度
仕上の程度

部位	仕様
床	・合板張り又はビニル床シート張り　・
内壁･天井	・合板張り又は石膏ボード張り＋塗装　・
屋根	・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板塗り又は鉄板張り＋塗装 ・

4 監督職員事務所の備品等

※設ける（種類及び数量は、監督員の指示による）　・設けない　[2.4.1]

③ 防水改修工事

1 降雨等に対する養生方法（とい共）

※改修標準仕様書3.1.3(5)による　[3.1.3][3.8.3]
・

2 改修用ドレン

・設ける(ＰＯＡＳ，ＰＯＡＳＩ，ＰＯＤ，ＰＯＤＩ，ＰＯＳ，ＰＯＳＩ，ＰＯＸ工法の場合)　[3.2.5]

3 脱気装置

[3.3.3][3.4.3] [3.5.3] [3.6.3]
・脱気筒　SUS 1箇所
・設ける (Ｍ３Ｄ，ＰＯＤ，ＰＯＤＩ，Ｍ３ＤＩ，Ｍ４ＤＩ，Ｍ３ＡＳ，ＰＯＡＳ，Ｍ３ＡＳＩ，Ｍ４ＡＳＩ，ＰＯＡＳＩ，ＰＯＳ，ＰＯＳＩ，Ｓ４Ｓ，Ｓ４ＳＩ，Ｓ３Ｓ，Ｓ３ＳＩ，Ｍ４Ｓ，Ｍ４ＳＩ，ＰＯＸ，Ｌ４Ｘ工法の場合)
種類及び設置数量　※ルーフィング類製造所の指定するもの
・

4 アスファルト防水

[表3.1.1][3.3.3][表3.3.3～表3.3.10]

防水改修工法の種類		新規防水層の種別	
屋根保護防水	・P1B工法	･B－1　※B－2	・Ｂ－3
	・P1BＩ工法 ･T1BＩ工法	･BＩ－1 ※BＩ－2	・ＢＩ－3
	・P2AＩ工法	･AＩ－1 ※AＩ－2	・ＡＩ－3
	・P2A工法	･A－1　※A－2	・Ａ－3
屋根露出防水	・M4C工法	･C－1　※C－2 ･C－3　･C－4	
	・M3D工法　・P0D工法	･D－1　※D－2 ･D－3　･D－4	
屋根露出防水絶縁断熱工法	・P0DＩ工法 ・M3DＩ工法 ・M4DＩ工法	･DＩ－1 ※DＩ－2	
屋内防水	・P1E工法　・P2E工法	･E－1　※E－2	

・Ｅ－１の工程３を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　）

部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ及び改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種別及び厚さ　[3.3.2]

	種別	厚さ(mm)
・部分粘着層付改質アスファルトルーフィング	※非露出複層防水層Ｒ種 ・	
・改質アスファルトルーフィングシート	※露出単層防水用Ｒ種 ・	

押さえ金物の材質、形状寸法　[3.3.2]
※アルミニウム製、Ｌ－30×15×2.0程度　・
断熱材（屋根保護防水断熱工法）　[3.3.2]
種類　※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA(ｽｷﾝ層付き)
厚さ（mm）　・
断熱材（屋根露出防水断熱工法）　[3.3.2]
種類　・JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
　・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
　（透湿係数を除くJIS A 9521 の規格に準ずるもの）
厚さ（mm）　・
絶縁シートに使用する材料　[3.3.2]
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
　（屋根保護防水密着工法及び屋根保護防水絶縁工法の場合）
・フラットヤーンクロス（70ｇ/㎡程度）
　（屋根保護防水密着断熱工法及び屋根保護防水絶縁断熱工法の場合）
保護コンクリート　[3.3.2][3.3.5]
厚さ　※改修標準仕様書3.3.5(d)(2)による　・
設計基準強度（N/mm[¥sup"2"]）　※18　・
スランプ（cm）　※15又は18　・
床面の仕上がりの平たんさ　[3.3.5]
※改修標準仕様書表8.1.5による
種別　・a種　・b種　・c種
立上がり部の保護の方法　[3.3.2, 3.3.3][3.3.5][表3.3.3～表3.3.10]
・乾式保護材
・れんが押え（れんがの種類　※JIS R 1250　・　）
・モルタル押え（屋内等）　[3.2.6]
・コンクリート押え
既存下地の補修箇所
・
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(Ｍ４ＡＳ，Ｍ４ＡＳＩ，Ｍ４Ｃ，Ｍ４ＤＩ工法の場合)
・除去する　[3.2.6]
Ｐ１Ｅ工法、Ｐ２Ｅ工法の保護層　[3.3.3]
・設ける
Ｍ４Ｃ工法、Ｍ３Ｄ工法、ＰＯＤ工法、ＰＯＤＩ工法、Ｍ３ＤＩ工法、Ｍ４ＤＩ工法の仕上げ塗料塗り　[3.3.3]
・有り　種類（　）
　使用量（※製造所の仕様による　・　）

5 改質アスファルトシート防水

防水層の種別　[表3.1.1][3.4.3][表3.4.1～表3.4.3]

防水改修工法の種類		防水層の種別		備考
屋根露出防水密着工法	・○4ＡＳ工法	・ＡＳ－Ｔ1 ・ＡＳ－Ｔ2	・ＡＳ－Ｊ2	
屋根露出防水絶縁工法	・M3ＡＳ工法 ・P0ＡＳ工法	・ＡＳ－Ｔ3 ・ＡＳ－Ｔ4	○ＡＳ－Ｊ1 ・ＡＳ－Ｊ3	
屋根露出防水絶縁断熱工法	・M3ＡＳＩ工法 ・M4ＡＳＩ工法 ・P0ＡＳＩ工法	・ＡＳＩ－Ｔ1 ・ＡＳＩ－Ｊ1		

改質アスファルトシート（JIS A 6013）　[3.4.2]
種類　※改修標準仕様書3.4.2(1)による　・
厚さ（mm）　・下層　1.5mm　表層　2.9mm
断熱材（屋根露出防水絶縁断熱工法）　[3.4.2]
種類　・JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
　・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
　（透湿係数を除くJIS A 9521 の規格に準ずるもの）
厚さ（mm）　・
防湿層(屋根露出防水絶縁断熱工法)　・設置する　[3.4.3][表3.4.3]
ＡＳ-Ｔ３工法、ＡＳ-Ｔ４工法、ＡＳ-Ｊ１工法、ＡＳ-Ｊ３工法、ＡＳＩ-Ｔ１工法、ＡＳＩ-Ｊ１工法の仕上げ塗料塗りの仕上げ塗料塗り　[3.4.3]
・有り　種類（　）
　使用量（※製造所の仕様による　・　）
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　Ｌ－30×15×2.0（mm）程度　・

6 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別　[表3.1.1] [3.5.3] [表3.5.1～表3.5.3]

防水改修工法の種類	新規防水層の種別	施工箇所	厚さ(mm)
・P0S工法 ・S4S工法	･S-F1　･S-M1 ･S-F2　･S-M2 ･S-M3	・防水立上り ・防水平場	･1.2 ･1.5 ･2.0 ・
・P0SＩ工法 ・S4SＩ工法 ・S3S工法 ・S3SＩ工法	･SＩ-F1　･SＩ-M1 ･SＩ-F2　･SＩ-M2 ･S-F1　･S-F2 ･SＩ-F1　･SＩ-F2		
・M4S工法 ・M4SＩ工法	･S-M1　･S-M2 ･SＩ-M1　･SＩ-M2		
・P1S工法	･S-C1		

九条公園プール更新工事　設計図	設計図番
建築工事特記仕様書-1	図面番号　A-02
	縮　尺　Non
検図 ／ 担当 ／ 製図	設計年月日
YARD　吉村建築設計	

章	項目	特記事項

③ 防水改修工事

P0S工法及びP0SＩ工法(機械的固定工法)の既存保護防水層を撤去し、
防水層を非撤去とした立ち上がり部等の補修、措置 [3.2.6]
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)とする
・
断熱材（接着工法） [3.5.2]
種類 ※改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)による ・
厚さ(mm) ・
断熱材（機械固定工法）
種類 ※改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)による ・
厚さ(mm) ・
固定金具の材質及び寸法形状 [3.5.2]
※厚さ0.4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面
又は両面に樹脂を積層加工した鋼板
・
仕上げ塗料塗り（S-C1工法を除く） [3.5.3]
・有り 種類（ ）
使用量（※製造所の仕様による ・ ）
絶縁用シートの材質 [3.5.2]
※発泡ポリエチレンシート ・ルーフィングシート製造所仕様による
一般部のルーフィングシートの張付け [3.5.4]
機械的固定工法 （建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法）
・適用する
既存防水下地がプレキャストコンクリート部材の場合の処理
目地処理 ・行う（工法 ） ・行わない
入隅部の増張り ・行う（・図示 ・ ） ・行わない

7 塗膜防水

[表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2]

防水改修工法の種類	新規防水層の種別	備考
・既設塗膜防水撤去	・重防食特殊エポキシ樹脂系弾性塗料	・ＪＷＷＡ基準適合品仕様 ・RA種ｹﾚﾝ（塗装） ・参考ﾒｰｶｰ 菱洋(株)ｴﾎﾟﾌﾟﾙｰﾌ

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（Ｌ４Ｘ工法の場合） [3.2.6]
・除去する
Ｐ１Ｙ工法、Ｐ２Ｙ工法の各工程の使用量 [3.6.3]
※主材料の製造所の仕様による ・
Ｐ０Ｘ工法、L4Ｘ工法の仕上げ塗料塗り [3.6.3]
・有り 種類（ ）
使用量（※製造所の仕様による ・ ）
※ 環境対応型 ウレタ ンゴム系塗膜防水

⑧ シーリング

シーリング改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.2]
○シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][4.2.2][表3.7.1]
※被接着体に応じたものとし、改修標準仕様書表3.7.1を標準とする
⊙種類（エポキシ樹脂系高弾性シーリング ） 施工箇所(SUSプール取合部)
⊗プライマーを使用の事。参考ﾒｰｶｰ：ｼﾞｯｸｼｰﾙE16 日本ｼﾞｯｺｳ(株)
⊙種類（脱オキシム型シリコン系シーリング防カビ ） 施工箇所(ガラス面)
シーリング材の目地寸法 [3.7.3]

箇所	幅(mm)	深さ(mm)
ｺﾝｸﾘｰﾄ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地	※20以上 ・	※10以上 ・
ガラス回りの目地	※ 5以上 ・	※ 5以上 ・
その他の場合	※10以上 ・	※10以上 ・

ブリッジ工法 [3.7.7]
ボンドブレーカー張り ・適用する
エッジング材張り ・適用する
接着性試験 [3.7.8]
※簡易接着性試験
・引張接着性試験（部位 ）

9 とい

といその他の材種等 ・図示（図面番号 ） [3.8.2][表3.8.1]
とい受金物
材種 ※溶融亜鉛めっきを行ったもの ・
形状 ※市販品（とい径100以下） ※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
取付け間隔 ・
鋼管製といの防露 [3.8.3][表3.8.3]
※行う（施工箇所 ※改修標準仕様書表3.8.3による ・ ）
縦どいの受け金物の取付け [3.8.3]
・ 既設取付け金物は全て取り替える
ルーフドレンの取付け [3.8.3]
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタル充填
（モルタルの調合は、容積比でセメント１：砂３）

10 アルミニウム製笠木

部材の種類 [3.9.2][表3.9.1]
・押出し250形
・押出し300形
・押出し350形
・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式 ）
本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm ）
表面処理 [3.9.2][表5.2.2]
・

既存笠木等の撤去及び新規アルミニウム製笠木の下地補修の工法 [3.9.3]

笠木の取付方法（板折り曲げ形の場合） [3.9.3]

笠木の固定金具（建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したもの）
間隔 ・ [3.9.3]
固定方式等 ・

4 外壁改修工事

(ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ)

1－1 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]

工法の種類	注入口間隔(mm)	注入量（mL/箇所）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法ˆ 3	※200~300 ・	・ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	※200~300 ・ ・	・30mL/箇所 ・ ・

注入状況の確認方法 ※コア抜き取りを行う ・
抜取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法（ ）
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂
・低粘度形 ・中粘度形
・Ｕカットシール材充填工法
材料 [4.2.2]
・シーリング用材料
種別 ※１成分形又は２成分形ポリウレタン系
・
・可とう性エポキシ樹脂
・ポリマーセメントモルタル
工法
シーリング材のうえポリマーセメントモルタルの充填 [4.3.5]
・行う
・シール工法 [4.2.2]
材料
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

1－2 欠損部改修方法

・充填工法 [4.1.4]
材料 [4.2.2]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・

（モルタル塗り仕上げ）

2－1 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.4][4.4.5]

工法の種類	注入口間隔(mm)	注入量（mL/箇所）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法ˆ 3	※200~300 ・	・ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	・ ・ ・	・ ・ ・

注入状況の確認方法 ※コア抜き取りを行う ・
抜取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法（ ）
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂
・低粘度形 ・中粘度形
・Ｕカットシール材充填工法 [4.2.2]
材料
・シーリング用材料
種別 ※１成分形又は２成分形ポリウレタン系
・
・可とう性エポキシ樹脂
・ポリマーセメントモルタル
工法
シーリング用材料のうえポリマーセメントモルタルの充填
・行う [4.3.5][4.4.6]
・シール工法 [4.2.2]
材料
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

2－2 欠損部改修工法

・充填工法（欠損部面積=0.25㎡／箇所 程度以下の場合） [4.1.4][4.4.8]
材料 [4.2.2]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法 [4.2.2][4.4.9]
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－４ コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材
・適用する（形状 ）
下地処理（仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合）
・

2－3 浮き部改修工法

[4.1.4][4.2.2]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡） 一般部	アンカーピンの本数（本/㎡） 指定部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 一般部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 指定部	注入量（mL/箇所）
⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※１６ ・	※２５ ・	-	-	※２５ ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※２５ ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※５０ ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	-	-	※２５ ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※２５ ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ ・
・充填工法	-	-	-	-	-
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-

アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付きアンカーピンの材質
※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径6mm程度
・
・充填工法（欠損部面積=0.25㎡／箇所 程度以下の場合）
材料 [4.2.2]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法 [4.2.2][4.4.9]
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－４ コンクリート工事による）
・既調合材料
既製目地材
・適用する（形状 ）
下地処理（仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合）
・

（タイル張り仕上げ）

3－1 陶磁器質タイル（タ イルを撤去する場合）

タイルの種類 [4.2.2]

施工箇所	形状・寸法(mm)	上薬 施釉	上薬 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	耐滑り性 あり	耐滑り性 なし	最資源化ﾀｲﾙ	品質の程度
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

品質の程度は、参考商品名である。
試験張り ・行う [4.2.2]
見本焼き ・行う [4.2.2]

3－2 ひび割れ部改修工法（タイル非撤去の場合）

[4.1.4][4.5.2]
・樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.5]

工法の種類	注入口間隔(mm)	注入量（mL/箇所）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法ˆ 3	※200~300 ・	・ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	・ ・ ・	・ ・ ・

[4.3.4][4.5.5]
注入状況の確認方法 ※コア抜き取りを行う ・
抜取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法（ ）
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 [4.2.2]
・低粘度形 ・中粘度形

3－3 ひび割れ部改修工法（タイル撤去の場合）

ひび割れ部改修
・樹脂注入工法

工法の種類	注入口間隔(mm)	注入量（mL/箇所）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法ˆ 3	※200~300 ・	・ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	・ ・ ・	・ ・ ・

注入状況の確認方法 ※コア抜き取りを行う ・
抜取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法（ ）
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂
・低粘度形 ・中粘度形
・Ｕカットシール材充填工法 [4.3.5][4.5.2][4.5.6]
材料 [4.2.2]
・シーリング用材
種別 ※１成分形又は２成分形ポリウレタン系
・
・可とう性エポキシ樹脂
・ポリマーセメントモルタル
工法 [4.3.5]
シーリング用材料のうえポリマーセメントモルタルの充填
・行う
タイル張り撤去部補修 [4.5.2]
・タイル部分張替え工法
材料 [4.2.2]
接着材 ・ポリマーセメントモルタル
・一液反応硬化系変成シリコーン樹脂系
・ウレタン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤 ＪＩＳ Ａ 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料 ・既調合モルタル）
タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.4][表4.5.5]

適用タイル形状		工法
・外装タイル	小口以上 二丁掛け以下	・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ・外装壁タイル接着剤張り
・ユニットタイル	25mm角を超え 小口未満	・マスク張り ・外装壁タイル接着剤張り
	小口未満	・モザイクタイル張り ・外装壁タイル接着剤張り

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位 置 ※改修標準仕様書表4.5.1による ・図示 [4.5.8]
目地寸法 [3.7.3]

箇所	幅(mm)	深さ(mm)
ｺﾝｸﾘｰﾄ打継目地、ひび割れ誘発目地	※20以上 ・	※10以上 ・
ガラス回りの目地	※ 5以上 ・	※ 5以上 ・
その他の場合	※10以上 ・	※10以上 ・

[4.2.2]
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系
・
シーリングその他事項は、改修特記仕様書３章 防水改修工事によるˆ 3

3－4 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 [4.1.4]
材料 [4.2.2]
接着材 ・ポリマーセメントモルタル
・一液反応硬化系変成シリコーン樹脂系
・ウレタン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料 [4.2.2]
・接着剤 ＪＩＳ Ａ 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料 ・既調合モルタル）
タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.4][表4.5.5]

適用タイル形状		工法
・外装タイル	小口以上 二丁掛け以下	・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ・外装壁タイル接着剤張り
・ユニットタイル	25mm角を超え 小口未満	・マスク張り ・外装壁タイル接着剤張り
	小口未満	・モザイクタイル張り ・外装壁タイル接着剤張り

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位 置 ※改修標準仕様書表4.5.1による ・図示 [4.5.8]
目地寸法 [3.7.3]

箇所	幅(mm)	深さ(mm)
ｺﾝｸﾘｰﾄ打継目地、ひび割れ誘発目地	※20以上 ・	※10以上 ・
ガラス回りの目地	※ 5以上 ・	
その他の場合	※10以上 ・	※10以上 ・

シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・
シーリングその他事項は、改修特記仕様書３章 防水改修工事による

3－5 浮き部分改修工法（タイル非撤去の場合）

[4.1.4][4.2.2]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡） 一般部	アンカーピンの本数（本/㎡） 指定部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 一般部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 指定部	注入量（mL/箇所）
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※１６ ・	※２５ ・	-	-	※２５ ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※２５ ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※１３ ・	※２０ ・	※１２ ・	※２０ ・	※５０ ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	-	-	※２５ ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※２５ ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※９ ・	※１６ ・	※９ ・	※１６ ・	※５０ ・
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法			-	-	※２５ ・
・充填工法	-	-	-	-	-
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-

九条公園プール更新工事 設計図	設計図番
建築工事特記仕様書-2	図面番号 A-03
	縮 尺 Non

検図	担当	製図	設計年月日

YARD 吉村建築設計

A2 - R4年度ver1.0

章	項目	特記事項

4 外壁改修工事

アンカーピンの材質
　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
　・
注入口付きアンカーピンの材質
　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径6mm程度^２
　・

3－6 浮き部分改修工法（タイル撤去の場合）

・タイル部分張替え工法 [4.2.2]
材料
　接着材 ・ポリマーセメントモルタル
　　・一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　　・ウレタン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料 [4.2.2]
・接着剤 ＪＩＳ Ａ 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料 ・既調合モルタル）
タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.4][表4.5.5]

適用タイル形状		工法
・外装タイル	小口以上 二丁掛け以下	・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ・外装壁タイル接着剤張り
・ユニットタイル	25mm角を超え 小口未満 小口未満	・マスク張り ・外装壁タイル接着剤張り ・モザイクタイル張り ・外装壁タイル接着剤張り

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
　位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による ・図示 [4.5.8]
　目地寸法 [3.7.3]

箇所	幅(mm)	深さ(mm)
ｺﾝｸﾘｰﾄ打継目地、ひび割れ誘発目地	※20以上 ・	※10以上 ・
ガラス回りの目地	※ 5以上 ・	※ 5以上 ・
その他の場合	※10以上 ・	※10以上 ・

シーリング材の種類
　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・
　伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・
　シーリングその他事項は、改修特記仕様書３章 防水改修工事による

3－7 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4]
材料 [4.2.2]
　シーリング用材料
　　種類 ※改修標準仕様書表3.7.1による ・
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置 ・図示 ・ [4.5.16]
目地寸法
　箇所 ｺﾝｸﾘｰﾄ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 左記以外
　幅（mm）
　深さ（mm）
材料 [4.2.2]
　シーリング用材料
　　種類 ※改修標準仕様書表3.7.1による ・

4 塗り仕上げ

新規仕上げ塗材
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.5][4.2.2][表4.2.4]

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料	備考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
	・可とう形 外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状 ・凹凸状	こて	・適用	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
		・着色骨材 砂壁状	・吹付け ・こて	・適用	
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状 ・凹凸状	こて	・適用	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状 ・さざ波状	ﾛｰﾗｰ	・適用	増塗材 ・適用する
		・凹凸状	吹付け	・適用	
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状	吹付け	・適用	

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料	備考
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・適用	上塗材 ・適用する
		・平たん状	こて		
		・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし		・適用	
	・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・適用	上塗材 ・適用する
		・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・こて ・ﾛｰﾗｰ	・適用	
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
		・凸部処理 ・凹凸模様	吹付け	・適用	
	・可とう形複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
		・凸部処理 ・凹凸模様	吹付け	・適用	
	・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材ＲＳ	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ	・適用	増塗材 ・適用する
		・凸部処理 ・凹凸模様	吹付け	・適用	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・さざ波状	ﾛｰﾗｰ	・適用	
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・ゆず肌状	吹付け	・適用	

複層仕上塗材の耐候性 [4.2.2]
　・耐候性１種 ・耐候性２種 ※耐候性３種
複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材 [4.2.2][表4.2.5]
　※水性アクリルのつやあり ・

13 屋根改修工事

1. 長尺金属板葺

材種	規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
・カラー亜鉛鉄板 ※片面塗装・両面塗装	JIS 3312	※ 0.4	瓦棒葺（真木なし）	
・ガルバリウム鋼板 ※無塗装	JIS 3312	※ 0.4		AL55%
⊙カラーガルバリウム鋼板 立ハゼ葺き	JIS 3312	※ 0.4	瓦棒葺（F-40K）	AL55%

⊙裏貼：ポリスチレンフォーム t-2.0
※監督員の承諾する業者とする。

2. 折板葺

JISA6514のJIS表示認証製品 (13.3.2) (表13.2.1)

材種	規格	厚さ(mm)	山高 ピッチ	断熱材	耐火性能
・カラー亜鉛鉄板（屋根用規格品）	JIS 3312 JISG3322 JISK6744	※ 0.8	・0920 ・1525 ・1730	・有 mm ・無	・有（３０分耐火） ・無

・形式（・重ね形 ・はぜ締め形）
・軒先面戸（ ）

5 建具改修工事

1 改修工法

・かぶせ工法 ・撤去工法 [5.1.3]
・新規に金属製建具を設置する [5.1.3]
　壁開口の開け方（ カッター切り斫り ）
　建具周囲の補修工法（ モルタル補修 ）
　　補修範囲 ※図示

2 防火戸

防火戸の指定 [5.1.4]
　・図示（図面番号 ）
・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動させる

3 見本の製作等

建具見本の製作 ・行う（建具番号 ） [5.1.5]
特殊な建具の仮組 ・行う（建具番号 ）

4 防犯建物部品

・適用する（建具番号 ） [5.1.7]

5 アルミニウム製建具

アルミニウム製建具の性能等級等 [5.2.2][5.2.4][表5.2.1]

性能等級	・Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種
耐風圧性	※Ｓ－４ ・	※Ｓ－５ ・	※Ｓ－６ ・
気密性	※Ａ－３ ・		※Ａ－４ ・
水密性	※Ｗ－４ ・		※Ｗ－５ ・
枠見込み寸法(mm)	※70 ・100		※100 ・

表面処理 [5.2.4][表5.2.2]

施工箇所	種別	着色
外部に面する建具		※標準色 ・特注色
屋内の建具		※標準色 ・特注色

防音ドアセット、防音サッシ [5.2.2]
　・適用する 遮音性の等級（ ）
断熱ドアセット、断熱サッシ [5.2.2]
　・適用する 断熱性の等級（ ）
耐震ドアセット [5.2.2]
　・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
ステンレス鋼板（JIS G 4305） [5.2.3]
　※SUS304、SUS430J1L、SUS430、SUS443J1
　・
防虫網 ・設ける [5.2.3]
　※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製
　線径（mm） ※0.25以上 ・
　網目（メッシュ） ※16～18 ・
結露水の処理方法 ・図示 ・ [5.2.4]
水切り板、ぜん板 ・図示 ・ [5.2.5]

6 樹脂製建具

樹脂製建具の性能等級等 [5.3.2][5.3.4][表5.3.1]

性能等級	・Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種
耐風圧性	※Ｓ－４ ・	※Ｓ－５ ・	※Ｓ－６ ・
気密性	※Ａ－４ ・		
水密性	※Ｗ－４ ・	※Ｗ－５ ・	
枠見込み寸法(mm)			

防音ドアセット、防音サッシ [5.3.2][表5.3.1]
　・適用する(建具番号) 種別（ ）遮音性の等級( )
断熱ドアセット、断熱サッシ [5.3.2][表5.3.1]
　・適用する(建具番号) 種別（ ）断熱性の等級( )
ガラス [5.3.3]
　※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス
表面色 [5.3.4]
　・標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板等 [5.3.4]

防虫網 ・設ける [5.3.3]
　※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製
　線径（mm） ※0.25以上 ・
　網目（メッシュ） ※16～18 ・

7 鋼製建具

簡易気密型ドアセット [5.4.2][表5.4.1]
　・適用する
外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 [5.4.2][表5.2.1]
　・S-4 ・S-5 ・S-6
防音ドアセット、防音サッシ [5.4.2]
　・適用する(建具番号) 遮音性の等級( )
断熱ドアセット、断熱サッシ [5.4.2]
　・適用する(建具番号) 断熱性の等級( )
耐震ドアセット [5.4.2]
　・適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級( )
鋼板めっきの付着量 [5.4.3]
　材質 ・JIS G 3302（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量 ※Z12又はF12 ・
　　・JIS G 3317（塗装溶融-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量 ※Y08 ・
鋼板類の厚さ [5.4.4][表5.4.2]
　※改修標準仕様書表5.4.2による。 ただし、片開き、親子開き及び両開き戸の
　1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は、図示
　による。（図面番号 ）

8 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット [5.5.2]
　・適用する
防音ドアセット、防音サッシ [5.5.2]
　・適用する(建具番号) 遮音性の等級( )
断熱ドアセット、断熱サッシ [5.5.2]
　・適用する(建具番号) 断熱性の等級( )
耐震ドアセット [5.5.2]
　・適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級( )
ビニル被覆鋼板 [5.5.3]
　・適用する(建具番号)
カラー鋼板 [5.5.3]
　・適用する(建具番号)
ステンレス鋼板(JIS G 4305) [5.5.3][5.6.3]
　※SUS304、SUS430J1L、SUS430、SUS443J1
召合わせ、縦小口包み板等の材質 [5.5.3]
　※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材
鋼板類の厚さ [5.5.4][表5.5.1]
　※改修標準仕様書表5.5.1による。ただし、片開き、親子開き及び両開き戸の
　1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は、図示
　による。（図面番号 ）

9 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット [5.4.2][表5.4.1]
　・適用する
外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 [5.4.2][表5.2.1]
　・S-4 ・S-5 ・S-6
防音ドアセット、防音サッシ [5.4.2]
　・適用する 遮音性の等級（ ）
断熱ドアセット、断熱サッシ [5.4.2]
　・適用する 断熱性の等級（ ）
耐震ドアセット [5.4.2]
　・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
ステンレス鋼板（JIS G 4305） [5.6.3]
　※SUS304、SUS430J1L、SUS430、SUS443J1
　・
表面仕上げ [5.6.4]
　※ＨＬ ・
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ [5.6.5]

10 建具用金物

金物の種類及び見掛かり部の材質 [5.7.2][表5.7.1]
　※改修標準仕様書表5.7.1による ・
金物の適用 ※適用する 図示（図面番号 ） [5.7.2][表5.7.1]
　・
樹脂製建具に使用する丁番 [5.7.3]
　※改修標準仕様書表5.7.3による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置
　※図示(図面番号)
マスターキー [5.7.4]
　・製作する ・在来マスターキーに合わせる
※鍵は、3本１組とし、室名札を付け、一括して鍵箱に収納して引き渡す。
　鍵箱は、鍵の個数に相応した鋼製既製品とする。

11 自動ドア開閉装置

[5.8.2, 3]

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※改修標準仕様書表5.8.1による	・適用する	・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (建具番号
・SWD-1 ・SWD-2	※改修標準仕様書表5.8.2による			
・図示				

12 自閉式上吊り引戸装置

性能 [5.9.3][表5.9.1]
　※改修標準仕様書表5.9.1により、適用する戸の質量に応じたもの
　・

13 重量シャッター

シャッターの種類 [5.10.2]
　・管理用重量シャッター（耐風圧強度 ）
　・外壁用防火シャッター（耐風圧強度 ）
　・屋内用防火シャッター
　・防煙シャッター
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 [5.10.2]
　※改修標準仕様書5.10.2(d)(4)(ⅰ)かつ(ⅲ) ・
開閉機能による種類
　※上部電動式（手動併用） ・上部手動式
シャッターケース ・設ける [5.10.2]
スラット及びシャッターケース用鋼板 [5.10.3]
　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） [5.10.2][表5.10.1]
　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
ガイドレール等のステンレス鋼板 [5.10.3][5.6.3]
　※SUS304、SUS430J1L、SUS430、SUS443J1
　・
めっき付着量 ※Z12又はF12 ・ [5.10.3]

14 軽量シャッター

開閉機能による種類 [5.11.2][表5.11.1]
　※手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度 [5.11.2]
　・
スラット
　材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） [5.11.3]
　　めっき付着量 ※Z06又はF06 ・
　　・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量 ※AZ90 ・
　・
形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4]

15 オーバーヘッドドア

形式及び機構 [5.12.2][5.12.3]

ｾｸｼｮﾝ材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ・

耐風圧性能（JIS A 4715による強さ） [5.12.2]
　・50 ・75 ・100 ・125 ・

⑯ ガラス

・フロート板ガラス 厚さ(mm) ・4 [5.13.2]
・型板ガラス 品種 ・ [5.13.2]
　厚さ(mm) ・2 ・4 ・6
⊙網入板ガラス及び線入板ガラス [5.13.2]

網又は線の形状及び板の表面の状態による種類			厚さ(mm)
網入板ガラス	網入型板ガラス	・ひし網入型 板ガラス	⊙6.8 ※取外し再取付
		・角網入型 板ガラス	・6.8
	網入磨きガラス	・ひし網入磨き板ガラス	・6.8 ・10
		・角網入磨き板ガラス	・6.8
線入板ガラス	・線入型 板ガラス		・6.8
	・線入磨き板ガラス		・6.8 ・10

・合わせガラス [5.13.2]

形状	特性による種類	材料板ガラスの種類、厚さ	合計厚(mm)
・平面	・Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅲ類	〈ガラス種類(厚さ)+ガラス種類(厚さ)	
・曲面	・Ⅰ類	〈ガラス種類(厚さ)+ガラス種類(厚さ)	

・強化ガラス [5.13.2]

材料板ガラスの種類による名称	呼び厚(mm)	特性による種類
・型 板強化ガラス	※4 ・	・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・フロート強化ガラス	※4 ・6	
・熱線反射強化ガラス	・	

・熱線吸収板ガラス [5.13.2]

板ガラスの種類	厚さ(mm)	性能による種類
・熱線吸収フロート板ガラス	・	・1種 ・2種
・熱線吸収磨き板ガラス	・	
・熱線吸収網入磨き板ガラス	※6.8	
・熱線吸収線入磨き板ガラス	・	
・熱線吸収網入型板ガラス		

九条公園プール更新工事 設計図	設計図番
建築工事特記仕様書-3	図面番号 A-04
	縮尺 Non
検図 ／ 担当 ／ 製図	設計年月日
YARD 吉村建築設計	

章	項目	特記事項

⑤ 建具改修工事

・複層ガラス [5.13.2]

断熱性、日射熱遮へい性による種類		材料板ガラスの種類、厚さ	厚さ(mm)
・断熱複層ガラス	・1種	〈ガラス種類(厚さ)+ガラス種類(厚さ)	
	・2種	〈ガラス種類(厚さ)+ガラス種類(厚さ)	
	・3種		
・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	〈ガラス種類(厚さ)+ガラス種類(厚さ)	
	・5種		

・熱線反射板ガラス [5.13.2][5.13.4]

材料板ガラスの種類	日射熱遮へい性による区分	映像調整	厚さ(mm)
・フロート板ガラス	・1種	・行う	・6
・磨き板ガラス	・2種	・行わない	・8
・熱線吸収フロート板ガラス	・3種		・10
・熱線吸収磨き板ガラス			・12
・平面強化ガラス			
・倍強度ガラス			

・倍強度ガラス [5.13.2]

材料板ガラスの種類	厚さ(mm)
・フロート板ガラス	・6 ・8 ・10 ・12
・熱線吸収フロート板ガラス	・6 ・8 ・10 ・12
・磨き板ガラス	・6 ・8 ・10 ・12
・熱線吸収磨き板ガラス	・6 ・8 ・10 ・12
・熱線反射ガラス	・6 ・8 ・10 ・12

⑰ ガラス留め材

[5.13.2]

建具の種類	ガラス留め材
アルミニウム製	・ガスケット ・グレイジングチャンネル形(枠見込み70mmの引違い、片引き障子の場合) ・ ⊙シーリング材(SA-2)引違い障子以外の部分に使用
鋼製	・シーリング材(SR-1) ・
ステンレス製	・シーリング材(SR-1) ・

板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.13.3][表5.13.1]
※改修標準仕様書表5.13.1による(アルミニウム製建具、鋼製建具及びステンレス製建具)
(強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合を除く。)

18 ガラスブロック積み

ガラスブロック [5.13.5]

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)
・正方形	・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320	・80 ・95 ・125
・長方形	・250×125 ・320×160	・80 ・95

壁用金属枠及び補強材 ・図示(図面番号) [5.13.5]
・

力骨 [5.13.5]

材質	寸法(mm)	形状
※ステンレス鋼(SUS304) ・	※径5.5 ・	※はしご形状複筋及び単筋 ・

化粧目地モルタルの色 [5.13.5]

シーリング材 [5.13.5][表3.7.1]
※被着体に応じたものとし、改修標準仕様表3.7.1を標準とする。
・図示(図面番号)

金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 [5.13.5]
・図示(図面番号) ・

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 [5.13.5]
・

目地 [5.13.5]

	目地幅
平積み	※8mm以上、15mm以下 ・
曲面積み	※改修標準仕様書5.13.5(b)(2)(i)②による ・

伸縮調整目地 [5.13.5]
位置 ※改修標準仕様書5.13.5(b)(2)(ii)による
・

目地部の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による

⑥ 内装改修工事

① 他の部位との取合い等

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [6.1.3]
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [6.1.3]
※既存のまま ・

② 既存床の撤去、下地補修

浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・行う ○ [6.2.2]

合成樹脂塗床材の撤去工法 [6.2.2]
・機械的除去工法 ・目荒し工法

改修後の床の清掃範囲 ・図示(図面番号) [6.2.2]
・

3 既存壁の撤去、下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※改修標準仕様書4.4.9による ・

4 木下地等

[6.5.1][表6.5.1]

表面仕上げの種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

代用樹種を使用しない箇所 [6.5.2][表6.5.4]
(製材の場合) ・全ての部材 ・

6 内装改修工事

5 製材

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
間仕切軸組	杉	90*30	※2級 ・		※A種 ・B種 ・
胴縁	杉	40*18	※2級 ・		※A種 ・B種 ・
			※2級 ・		※A種 ・B種 ・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
					※A種 ・B種 ・
					※A種 ・B種 ・
					※A種 ・B種 ・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
			※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・
			※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・
			※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率
			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用	・適用	※A種 ・B種 ・
			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用	・適用	※A種 ・B種 ・
			( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用	・適用	※A種 ・B種 ・

6 集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質
			※1等 ・
			※1等 ・
			※1等 ・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚(mm)	見付け材面の品質
	化粧薄板： 芯材：			※1等 ・
	化粧薄板： 芯材：			※1等 ・
	化粧薄板： 芯材：			※1等 ・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚(mm)
	化粧薄板： 芯材：		
	化粧薄板： 芯材：		
	化粧薄板： 芯材：		

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※A種 ・B種 ・
				※A種 ・B種 ・
				※A種 ・B種 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※A種 ・B種 ・
	化粧薄板： 芯材：				
	化粧薄板： 芯材：				

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※A種 ・B種 ・
	化粧薄板： 芯材：				
	化粧薄板： 芯材：				

・「集成材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理
施工箇所	厚さ(mm)	・有り(加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し(等級)	・適用
		・有り(加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し(等級)	・適用

⊙「集成材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理
壁下地補強	12	・有り(加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し(等級)	※14%以下 ・	・適用
		・有り(加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し(等級)	※14%以下 ・	・適用

7 床張り用合板

・普通合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用
	・		・1類 ・2類		・適用
	・		・1類 ・2類		・適用

・構造用合板

施工箇所	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	有効断面係数比	防虫処理	強度等級
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・		・適用	・適用 ( )
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・		・適用	・適用 ( )
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・		・適用	・適用 ( )

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
講義室床	RS	※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・
		・	・		・

・構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ(mm)
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級	
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級	

防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6.5.5]

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※(12.3.1)(3)(ii)①~④による ・

8 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1]
屋外 ・19型 ※25型
屋内 ※19型 ・25型
屋外の野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 [6.6.3]
・図示(図面番号) ・900以下
屋外の野縁の間隔
・図示(図面番号)・300以下 ・350以下 ○
あと施工アンカーの引抜き試験(内部) ・行う ○ [6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験(外部) ・行う(方法 ※図示)

9 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 [6.7.3][表6.7.1]
※改修標準仕様書表6.7.1による ・
スタッドの高さが5mを超える場合 [6.7.3][表6.7.1]
※図示(図面番号)

10 ビニル床シート

[6.8.2][6.8.3]

種類の記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法
※FS ・	※2.0 ・	※無地 ・マーブル	・突付け ・熱溶接 ・継目止水工法

11 ビニル床タイル

[6.8.2]

種 類	厚さ(mm)	品質・規格
・	※2.0 ・	

⑫ 帯電防止床シート、床タイル、防滑性床シート、床タイル

[6.8.2]

種 類	性 能	厚さ(mm)
・帯電防止床シート ・帯電防止床タイル	・体積抵抗値＜ ＞Ω以下	・2.0 ・

種 類	性 能	厚さ(mm)
⊙防滑性床シート ・防滑性床タイル	JIS種類表示 複層ビニル床シートFS	・2.0 ○9

参考 タキストロンST ハイスイカラットHS同等品 平面図参照

13 視覚障害者用床タイル

[6.8.2]

種 類	形 状

14 ビニル幅木

[6.8.2]

材 種	高さ(mm)	厚さ(mm)
・軟質 ・硬質	※60 ・75	※1.5以上

シート巻上 H=100

15 ゴム床タイル

[6.8.2]

種 類	厚さ(mm)

16 カーペット敷き

織じゅうたん [6.9.3][6.9.4][表6.9.1]

種別	織り方	パイル形状	帯電性	品質の程度
・A種 ・B種 ・C種	・ウィルトン ・ダブルフェース ・アキスミンスター	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・適用する	

(品質の程度は参考商品である)

・タフテッドカーペット [6.9.3][6.9.4][表6.9.1]

パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工 法	品質の程度
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用 ・レベルループパイル		・適用する	※全面接着工法 ・グリッパー工法	

(品質の程度は参考商品である)

・グリッパー工法に使用する下敷き材 [6.9.3]

品 質	厚さ(mm)
※JIS L 3204の2種2号	※8

取付用付属品 [6.9.3]
見 切 り(材質〈 〉種類〈 〉形状〈 〉
押さえ金物(材質〈 〉種類〈 〉形状〈 〉

・ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	品質の程度
3.4mm	・適用する	2階廊下

(品質の程度は参考商品である)

⊙タイルカーペット [6.9.3][表6.9.2]

	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
※第一種 ・第二種	・カットパイル ※ループパイル ・カット、ループ併用	※500×500	※6.5	・防炎品 ・静電気防止品 ・トリプルフレッシュ加工品

(品質の程度は参考商品である)

・タイルカーペットの敷き方 [6.9.4]

平 場	※市松敷き ・模様流し ・
階段部分	・市松模様 ※模様流し ・

17 合成樹脂塗床

[6.10.3][表6.10.4~7]

種類	工法	仕上げの種類
・厚膜型 塗床材 弾性ウレタ ン樹脂系塗床		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型 塗床材 エポキシ樹脂系塗床	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型 塗床材		

18 フローリング張り

フローリングの種別

単層フローリング	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	塗装
・フローリングボード 1等	※なら	・15	板幅 75 板長さ500以上	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステイン塗りの上ワックス ・生地のままワックス塗り
・フローリングブロック 1等	※なら	※15	※303×303	
・モザイクパーケット1等				

複合フローリング	樹種	種別	防湿処理	塗装
・天然木化粧	※なら	・A種		※ウレタン樹脂ワニス塗り
		・B種		・オイルステイン塗りの上ワックス
	・桧	※C種	・行う	・生地のままワックス塗り

工法 ・モルタル埋込み工法 ・接着工法 [6.11.3]
・釘留め工法(・根太張り工法 ・直張り工法)
接着工法の場合のフローリング裏面の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ [6.11.5]

19 畳敷き

種別 [6.12.2][表6.12.1]
・A種 ・B種 ・C種 ・D種(・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)

20 せっこうボード、その他のボード及び合板張り

せっこうボード、その他のボード類 [6.13.2][表6.13.1]

名称		種 類	厚さ(mm)
せっこうボード製品		・せっこうボード(GB-R)	・9.5 ・12.5
		・シージングせっこうボード(GB-S)	・9.5 ○12.5
		・強化せっこうボードGB-F)	
		・化粧せっこうボード(GB-D)	・9.5 ・12.5
		・せっこうラスボード(GB-L)	
		・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	・9.5
吸音材料	ロックウール吸音板	・ロックウール吸音フェルト(RW-F)	
		・ロックウール吸音ボード(RW-B)	
		・ロックウール吸音ブランケット(RW-BL)	
	グラスウール吸音板	・グラスウール吸音フェルト(GW-F)	
		・グラスウール吸音ボード(GW-B)	
		・ロックウール化粧吸音板(DR)	・12 ・12(溝付)
		・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB)	
		・吸音用木毛セメント板(WWCB)	
		・吸音用あなあきせっこうボード(GB-P)	
		・吸音用あなあきハードファイバーボード(HB-P)	
パーティクルボード		・素地パーティクルボード研磨板(RS)	
		・単板張りパーティクルボード研磨板(VS)	
		・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV)	
		・プラスチックオーバーレイ(DO)	
		・塗装(DC)	
繊維強化セメント板		・0.8けい酸カルシウム板(0.8FK)	
		・1.0けい酸カルシウム板(1.0FK)	○60
木毛セメント板		・硬質木毛セメント板(HW)	
		・中等木毛セメント板(MW)	
		・普通木毛セメント板(NW)	

九条公園プール更新工事 設計図	設計図番
建築工事特記仕様書-4	図面番号 A-05
	縮 尺 Non

検図	担当	製図	設計年月日

YARD 吉村建築設計

A2 - R4年度ver1.0

名称	種類	表板の樹種名	板面の品質	処理	厚さ(mm)
合板	・普通合板	・ﾗﾜﾝ程度 ・しな程度	・	・防虫 ・難燃	・
	種類	化粧板の樹種名	処理	厚さ(mm)	
	・天然木化粧合板	・なら	・防虫 ・難燃	・	
	種類	化粧加工の方法	表面性能	処理	厚さ(mm)
	・特殊加工化粧合板	・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装		・防虫 ・難燃	・

遮音シール材 [6.13.2]
・ｱｸﾘﾙ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・ｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ　・ｼﾞｮｲﾝﾄｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞ

下地　・軽量鉄骨下地　・木造下地　・ [6.13.3]

合板類の張付け [6.13.3][表6.13.3]
種別　・A種　※B種

せっこうボードの目地工法の種類 [6.13.3][表6.13.5]
・目透し工法　・突付け工法　・継目処理工法

21 壁紙張り

[6.14.2]

施工箇所	品質の程度	防火性能の等級
管理室	シンコールAA級	・不燃　⊙準不燃　・
		・不燃　・準不燃　・
		・不燃　・準不燃　・

(品質の程度は参考商品名である)

下地調整 [6.14.3][表7.2.4][表7.2.5][表7.2.7]
モルタル、プラスター面　・RA種　※RB種　・RC種
コンクリート面　・RA種　※RB種　・RC種
せっこうボード面　・RA種　※RB種　・RC種

22 モルタル塗り

既製目地材　・適用する(形状　) [6.15.3]
床の目地　・設ける [6.15.6]
目地工法　※押し目地(室内は縦横1.8m程度、廊下は3.6m程度の割付け間隔とする)
・

23 タイル張り

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状・寸法(mm)	用途	上薬 施釉	役物 あり	色 特注	耐凍害性 あり	最資源化ﾀｲﾙ	品質の程度
多目的便所	1200×600、300×300	床タイル張	○			○		ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ・ﾌﾛｱPC、ﾚｽﾄｰﾙﾈｵﾗｽﾃｨｯｸ同等品
多目的便所	200×200	壁タイル張	○			○		ｲﾙﾌｫﾝﾄﾞ ｱﾙﾌｧ同等品

(品質の程度は参考商品名である)
試験張り　・行う [6.16.3]
見本焼き　・行う
壁タイル張りの工法 [6.16.5][表6.16.4~6]
工法　・改良積上げ張り
⊙壁タイル接着剤張り

24 セルフレベリング材塗り

品質　・せっこう系　・セメント系 [6.17.2]
塗厚(mm)　・ [6.17.3]

(25) 清掃

改修後の床の清掃範囲 [6.2.2]
※床、壁、天井範囲とし、詳細は監督職員との協議による。

(26) 接着剤

接着材に含まれる可塑剤は難揮発性のものとする [6.5.3] [6.8.2]
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤 [6.9.3] [6.11.4]
のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散料 [6.11.5] [6.13.2]
※規制対象外　・第三種 [6.14.2] [6.14.4]

⑦ 塗装改修工事

1 防火材料

※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする [7.1.3]
・次の箇所を除き防火材料とする(　)

(2) 下地調整

既存塗膜の除去範囲(塗替えでRB種の場合) [7.2.1][表7.2.1~7]
※塗替え面積の30%とする　・図示
下地調整の種別
木部 [7.2.2][表7.2.1]
・RA種　※RB種　・RC種
鉄鋼面 [7.2.3][表7.2.2]
⊙RA種　※RB種　・RC種
亜鉛めっき鋼面・アルミ面 [7.2.4][表7.2.3]
・RA種　※RB種　・RC種
モルタル面、プラスター面 [7.2.5][表7.2.4]
・RA種　※RB種　・RC種
ひび割れ部の補修　・行う [表7.2.4]
コンクリート面、ALCパネル面(DP以外の場合) [7.2.6][表7.2.5]
・RA種　※RB種　・RC種
ひび割れ部の補修　・行う [表7.2.5]
コンクリート面、押出成形セメント板面 [7.2.6][表7.2.6]
ひび割れ部の補修　・行う
せっこうボード面、その他ボード面 [7.2.7][表7.2.7]
・RA種　※RB種　・RC種

3 錆止め塗料塗り

鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種別(EP-G以外の場合) [7.3.2][表7.3.2]
※A種　・B種　・C種

鉄鋼面錆止め塗料塗り [7.3.3][表7.3.3]

適用箇所		種　別
新規	見え掛り部分	・As種　・Bs種　・Cs種　・Ds種　・Es種
	見え隠れ部分	・As種　・Bs種　・Cs種　・Ds種　・Es種
塗替え部		・As種　・Bs種　・Cs種　・Ds種　・Es種

亜鉛メッキ鋼面錆止め塗料塗り [7.3.3][表7.3.4]

適用箇所	種　別
塗替え部	・Az種　・Bz種　・Cz種
鋼製建具等	※Az種　・Bz種　・Cz種
上記以外	・Az種　・Bz種　・Cz種

※各工程の標準膜厚を測定する事
※アルミ面はBz種とする

4 合成樹脂調合ペイント(SOP)

塗料の種別　※1種　・2種 [7.4.2]

木部の合成樹脂調合ペイント塗り [7.4.3][表7.4.1]

新規の場合(多孔質広葉樹を除く)	屋外	※A種　・B種　・C種
	屋内	・A種　※B種　・C種
塗替えの場合		・A種　※B種　・C種

鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種別 [7.4.4][表7.4.2]
・A種　※B種　・C種

亜鉛メッキ鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種別 [7.4.5][表7.4.3]

鋼製建具の塗替えの場合	※A種　・B種　・C種
上記以外	・A種　※B種　・C種

5 ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り(CL)

種別　・A種　※B種 [7.5.2][表7.5.1]

6 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)

種別 [7.7.2][表7.7.1]
・A種　※B種

7 耐候性塗料塗り(DP)

鉄鋼面耐候性塗料塗りの種別(新規を除く) [7.8.2][表7.8.1]
・A種　・B種　・C種
亜鉛めっき鋼面・アルミ面耐候性塗料塗りの種別(新規を除く) [7.8.3][表7.8.2]
・A種　・B種　・C種
コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りの種別
・A種　・B種　・C種 [7.8.4][表7.8.3]
上塗り塗料等級
・1級(コンクリート、押出成形セメント板面を除く)
※(鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659とし、中塗り・上塗りは30μm以上とし膜厚測定をする事)

8 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)

コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別
・A種　※B種　・C種 [7.9.2][表7.9.1]

しみ止め(塗替えの場合) [7.9.2]
※改修標準仕様書7.9.2.(b)による　・

屋内の木部つや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別 [7.9.3][表7.9.2]

新規(多孔質広葉樹を除く)	※A種　・B種　・C種
塗替え	・A種　※B種　・C種

屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別
・A種　※B種　・C種 [7.9.4][表7.9.3]
屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別
・A種　※B種　・C種 [7.9.5][表7.9.4]

9 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)

種別　・A種　※B種　・C種 [7.10.2][表7.10.1]
しみ止め(塗替えの場合) [7.10.2]
※改修標準仕様書7.10.2.(b)による　・

10 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T)

種別　・A種　※B種　・C種(塗替えで下地調整RB種、RC種を除く) [7.11.2][表7.11.1]

11 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC)

種別　・A種　※B種 [7.12.2][表7.12.1]

12 ﾗｯｶｰｴﾅﾒﾙ塗り(LE)

種別　・A種　※B種 [7.13.2][表7.13.1]

13 木材保護塗料塗り

種別　・A種　※B種 [7.15.2][表7.15.1]

⑧ 仕上げユニット工事

1 大型シーリングファン

ファン直径　7.3m
最大風量　18,000㎥/分
最大出力　1,100W
重量　135kg
電圧　三相200V
参考メーカー及び品番　(株)五常 スマイルファン SMF3EV-7E

(2) プール改修工事

改修仕様　ステンレス製全溶接構造
25Mプール　25M×13M　@2000 6コース　スロープ付
水深1.1M
幼児プール　13M×6M　変形
水深0.85M・0.55M
参考メーカー　(株)三井三池製作所

⑨ 環境配慮改修工事(アスベスト処理)

(1) 施工調査等

施工調査(アスベスト含有建材の有無) [9.1.1]
※行う　・行わない
目視及び設計図書等により製品名、製造所名、製造年等を確認し、調査結果を取りまとめ監督職員に提出する。
アスベスト含有建材の分析調査
・行う(適用範囲　)　・行わない
分析方法
・JIS A1481-2　・JIS A1481-3
※「建材中の石綿含有率の分析方法」(平成18年8月21日基発第0821002号、基安化発第0821001号及び平成20年2月6日基安化発第0206003号)による。
分析結果報告書の提出

2 アスベスト粉じん濃度測定

・行う　・行わない [9.1.1]

測定時期	測定場所	測定点		計
処理作業前	・処理作業室内	点	室	点
	・集じん・排気装置の排出口	点	室	点
処理作業中	・処理作業室内	点	室	点
	※セキュリティーゾーン入口	点	室	点
	※集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	点	室	点
	※施工区画周辺又は敷地境界	点	室	点
処理作業後(隔離ｼｰﾄ撤去前)	※処理作業室内	点	室	点
	・施工区画周辺又は敷地境界	点	室	点
		合計		点

3 アスベスト含有吹付け材の除去及び処分

除去工法 [9.1.1][9.1.3]
・除去工法(BCJ(財)日本建築センターの審査証明(写)添付)
・封じ込め処理(　)
・囲い込み処理(　)
除去したアスベスト含有吹付け材等の固型化
・行う　・行わない(飛散防止散布材散布による固型化)
保管場所
・(　)
除去したアスベスト含有吹付け材の処分
・埋立処分　・中間処理

4 アスベスト含有保温材等の除去及び処分

除去工法 [9.1.1][9.1.4]
※手ばらし　・(　)
除去したアスベスト含有保温材等の固型化
・行う　・行わない(飛散防止散布材散布による固型化)
保管場所
・(　)
除去したアスベスト含有保温材等の処分
・埋立処分　・中間処理

5 アスベスト含有成形板の除去及び処分

除去工法 [9.1.5]
※湿潤化の上手ばらし　・(　)
保管場所
・(仮設内)
除去したアスベスト含有成形板の処分(石綿含有せっこうボードを除く)
・埋立処分　・中間処理

6 手続き等

※労働基準監督署及び保健所(奈良市内においては、奈良市環境保全課)に必要な書類の届出を行うこと、またその内容を周辺住民の見やすい場所に掲示すること [9.1.2]

7 除去後の仕上げ

・(図示　) [9.1.1]

8 石綿作業主任者

※適用する [9.1.2]

9 アスベスト含有材の箇所

※仕上表及び図面の建材表示の前に▲を付したもの
※ｱｽﾍﾞｽﾄ含有の有無は、検査機関の調査によるものである。

10 PCB含有材の箇所

※仕上表及び図面の建材表示の前に◎を付したもの
※PCB分析調査　・する　・しない

10 特別管理産業廃棄物の処理

1 一般事項

分析調査
微量PCB(　)　・行う　・行わない
PCB含有シーリング(　)・行う　・行わない
ダイオキシン類のサンプリング調査
・行う(適用範囲　)・行わない

2 特別管理産業廃棄物の処分等

・特別管理産業廃棄物 [1.3.12]

種類	処分(処理)方法
・廃石綿等	改修工事標準仕様書9章1節[石綿含有建材の除去工事]による。
・PCBを含む機器類	保管(保管場所：　)
・PCB含有シーリング材	保護手袋着用の上、手ばらしし 保管(保管場所：　)
・廃油	焼却処分又は中間処理施設で再生処理
・廃酸/廃アルカリ	・[5.3.1]による ・中和処理 ・焼却処分 ・中間処理施設で再生処理
・ダイオキシン類	(　)

ダイオキシン類の解体方法(　)

③ プール改修工事

(4) プール改修工事
【文科省特記仕様書令和7年版】

ガラスクロスライニング工法

	ウレタン樹脂系仕上げ			ふっ素樹脂系仕上げ		
	<GEU>-1	<GEU>-2	<GEU>-3	<GEF>-1	<GEF>-2	<GEF>-3
下地調整1.3.2	RA種,RB種	RB種	RA種	RA種,RB種	RB種	RA種
補修塗り		○			○	
下塗り	○	○	○	○	○	○
下塗り(2回目)			○			○
ガラスクロスライニング	○	○	○	○	○	○
エポキシ樹脂ライニング	○	○	○	○	○	○
中塗り	○	○	○	○	○	○
上塗り	○	○	○	○	○	○
上塗り(2回目)	○	○	○	○	○	○
プールの素材	コンクリート アルミニウム ステンレス、FRP	鋼板		コンクリート アルミニウム ステンレス、FRP	鋼板	

	エポキシ樹脂系+ウレタン樹脂系+塗料塗替え				エポキシ樹脂系+ふっ素樹脂系+塗料塗替え		
	<PA>	<PEU>-1	<PEU>-2	<PEU>-3	<PEF>-1	<PEF>-2	<PEF>-3
下地調整1.4.2	RB種	RA種 RB種	RB種	RA種	RA種,RB種	RB種	RA種
補修塗り	○		○			○	
下塗り		○	○	○	○	○	○
下塗り(2回目)				○			○
中塗り		○	○(厚膜)	○(厚膜)	○	○(厚膜)	○(厚膜)
中塗り(2回目)			○	○		○	○
上塗り	○	○	○	○	○	○	○
上塗り(2回目)		○	○	○	○	○	○
プールの素材	コンクリート アルミニウム ステンレス、FRP		鋼板		コンクリート アルミニウム ステンレス、FRP	鋼板	

・プール改修内容

本工事では塗替え工法では⊙<PEU>-1とする　適用箇所　プール槽・立上り部
その他：ライン塗装、オーバーフロー等　防滑処理、水深表示・スタート台番号表示　スコッチシート
下地調整：高圧洗浄・ケレン・脱脂等　※プールサイド立上り床面は建築工事でシート張りとする
ステンレスプールのプール外面の塗装について
JISK5551(C種)とし300g/m²以上とする。膜厚計で検査する事。

<水張り試験>
改修工事完了後、24時間以上水張り試験を行い、漏水があった場合は直ちに補修し再試験を行う。
再試験結果は監督員に報告する

6 コンクリート工事

(6-1) レディーミクストコンクリート(JIS A5308-2019)
1)セメント　※ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJISR5210　● 高炉ｾﾒﾝﾄB種
● 低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJISR5210　●
2)粗骨材　●砂利　※ 砕石　● 高炉ｽﾗｸﾞ骨材　●人工軽量骨材　●再生骨材
最大径(mm)　※ 20　● 25　● 40
3)設計基準強度　(N/mm²)　(使用区分は設計図の軸組図に示す)
⊙ 普通コンクリート
● Fc18　● Fc21　● Fc24　● Fc27　⊙ Fc30
● 軽量コンクリート(※ 1種　● 2種　気乾単位容積質量 ※ 18.5 ●　)
● LFc18　● LFc21　● LFc24　● LFc27　● LFc30　● LFc
4)土間コンクリート　● Fc　(ただし柱,壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)
5)捨てコンクリート　● Fc
6)防水押さえコンクリート　● Fc　● LFc　(気乾単位容積質量 ※ 18.5 ●　)
7)かさ上げコンクリート　● Fc　● LFc　(気乾単位容積質量 ※ 18.5 ●　)

(6-2) 混和材　※AE減水剤　● 高性能AE減水剤　⊙躯体防水材(6%)● 膨張材
注1).混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたもの使用する。

(6-3)

箇　所	プール廻り				備　考
スランプ　cm	15,18				
水セメント比　%	50				60以下
単位水量　kg/m³	170				185以下
単位セメント量kg/m³	340				270以上

注2).スランプは特記なき限り施工者が決め監理者に報告する。

(6-4) 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
1)骨材　[⊙ 塩分含有量　● アルカリシリカ反応性]　⊗ 行う　● 行わない
2)フレッシュコンクリート　[⊙スランプ　⊙空気量]　⊗ 行う　● 行わない
3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験　⊗ 行う　● 行わない
4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験　● 行う　⊗ 行わない
5)マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析)　● 行う　⊗ 行わない
6)単位水量測定　● 行う　⊙ 行わない

6-5 調合(補正値は工事費に含む)
計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度Fd
● 短期(18)　● 標準(24)　● 長期(30)　● 超長期(36)
調合管理強度　Fm=Max(Fc,Fd)+S　S=3~6
材齢28日の調合強度Fは下記の両式を満足するものとする。
$F \geqq Fm+1.73\sigma$　$F \geqq 0.85Fm+3\sigma$

(6-6) せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

		基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁　下
コンクリートの材齢による場合	15 ℃以上	3 日	17 日	28 日
	5 ℃以上	5 日	25 日	
	0 ℃以上	8 日	28 日	
圧縮試験による場合		5N/mm²	注)0.85Fcまたは12N/mm²	注)設計基準強度

九条公園プール更新工事　設計図			設計図番 (6.3.2)
建築工事特記仕様書-5			図面番号 A-06
			縮　尺 Non
検図	担当	製図	設計年月日

YARD 吉村建築設計

A2 - R4年度ver1.0

外部仕上

改修前		改修後	
位置	仕 上	位置	仕 上
		外壁 （西妻部分）	網入りガラス及びアルミパネル取外し再取付
			ｶﾞﾗｽ廻り、枠シーリング撤去打設

内部仕上

室 名		床	幅 木	H	壁	天 井	天井高	摘 要
室内プール	改修前	既設タイル張り（モルタル下地）現況のまま　一部改修（※タイル先端カット、箱抜き、溝斫りあり）詳細図参照	――		-	-	――	
	改修後	改修型ステンレスプール層新設　ステンレスt-2.0 t-1.5	――		-	- -	――	
プールサイド	改修前	防滑性ビニル床シート撤去	――					
	改修後	防滑性ビニル床シート貼 t-2.9新設　既設下地調整	――					防滑性ビニル床シート貼 t-2.9新設　既設下地調整　エポキシ樹脂シーリング端部処理材

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

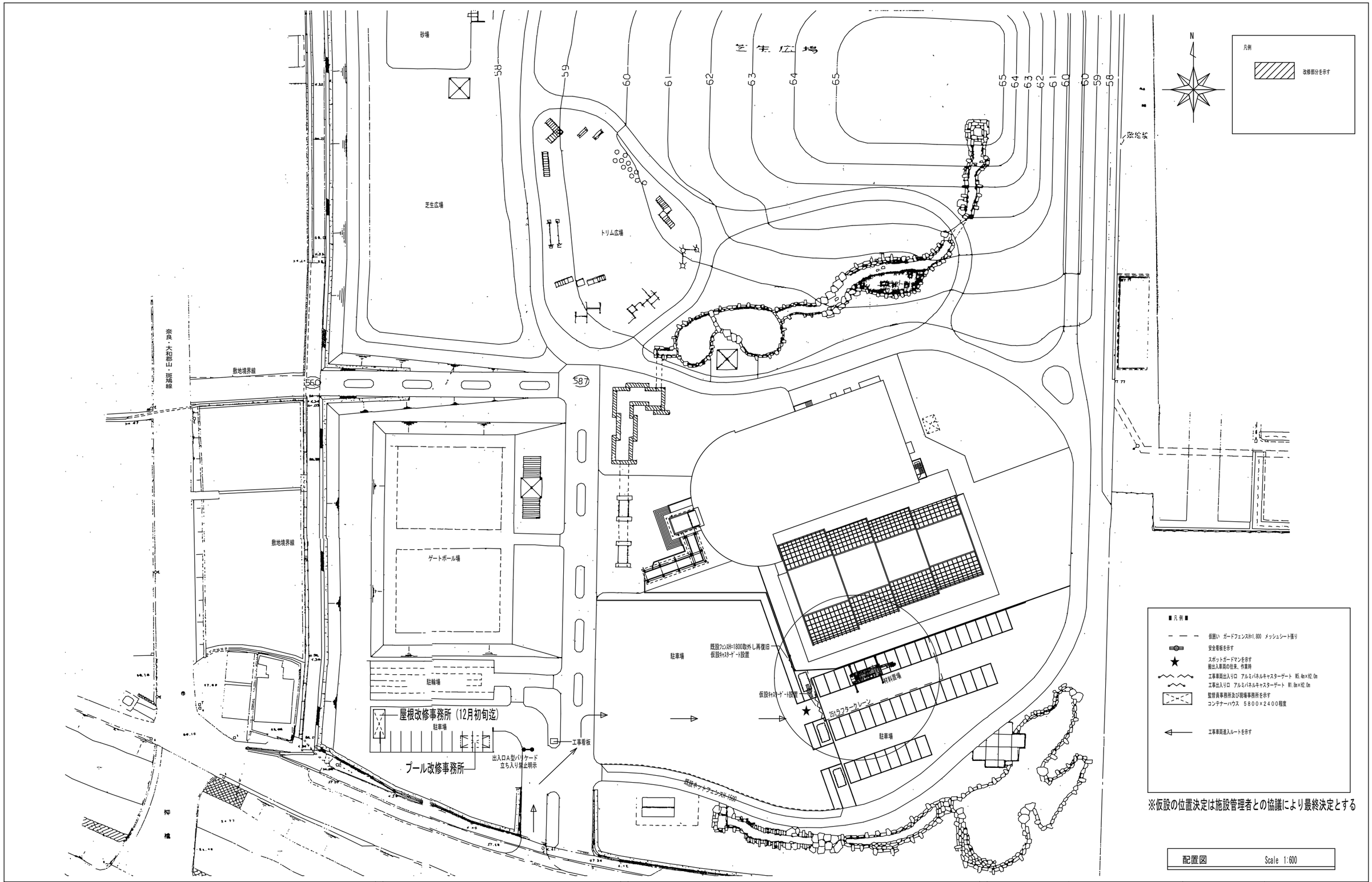
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉 村 勝 治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

※ 新替え→既設部撤去の上新設する
※ ▲アスベスト含有と見られる材を示す→産業廃棄物として適切処分する。

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME	仕上表	non	DRAWING NO. A-07



※仮設の位置決定は施設管理者との協議により最終決定とする

配置図 Scale 1:600

Yoshimura Architecture RadicalDesign

一級建築士事務所 奈良県 第 2012 (に) 1543号

YARD 吉村建築設計

一級建築士 第229763号 吉村勝治

奈良県大和郡山市本庄町329-1 TEL0743-57-4752

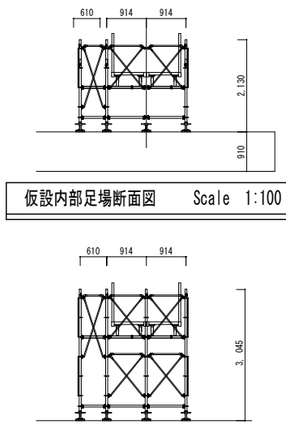
九条公園プール更新工事 設計図

DATE | DRAW K.Yoshi | RECOGNIZE | OWNER

DRAWING NAME

仮設計画図-1 Scale 1:600

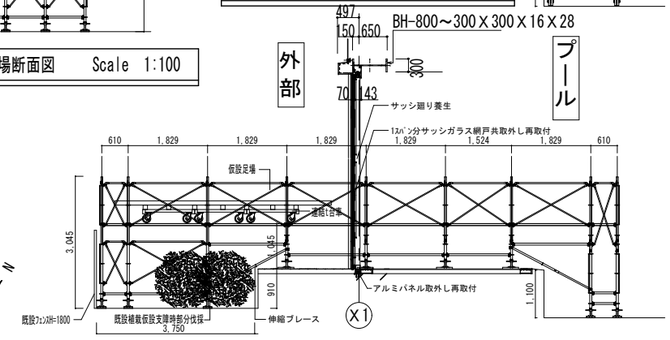
DRAWING NO. A-08



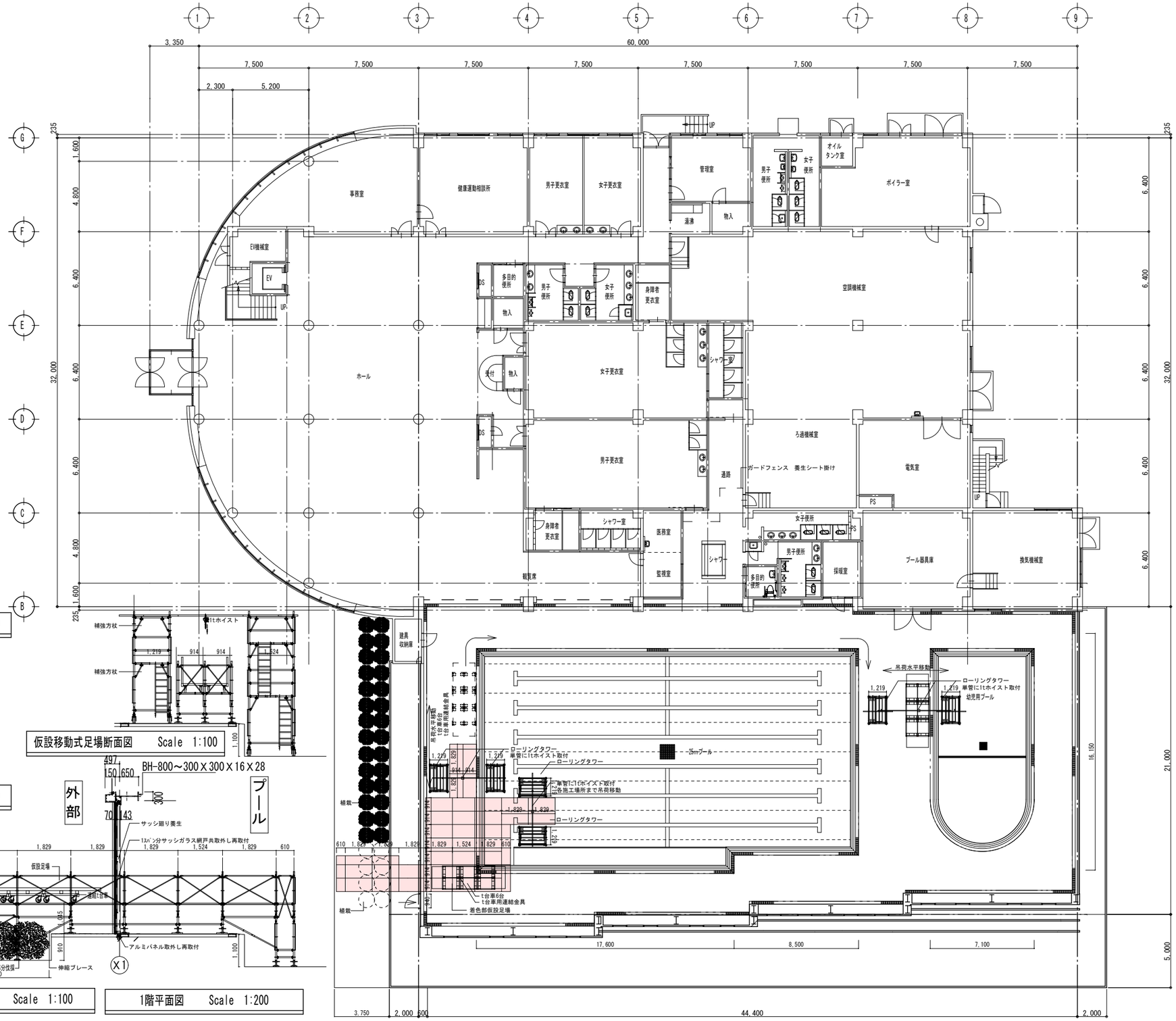
仮設内部足場断面図　Scale 1:100

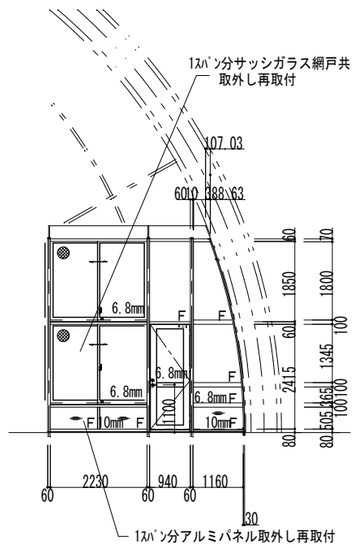
仮設外部足場断面図　Scale 1:100

仮設移動式足場断面図　Scale 1:100



仮設足場断面図　Scale 1:100





現況サッシ正面図

Yoshimura Architecture RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号

YARD 吉村建築設計

一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治

奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

※本図は設計図書及び現地調査により復元したものである。

仮設足場はプール材の重量や形状及び搬入方法を業者と打合せし決定する事。　1搬入資材5000,D1500 500kg程度の想定

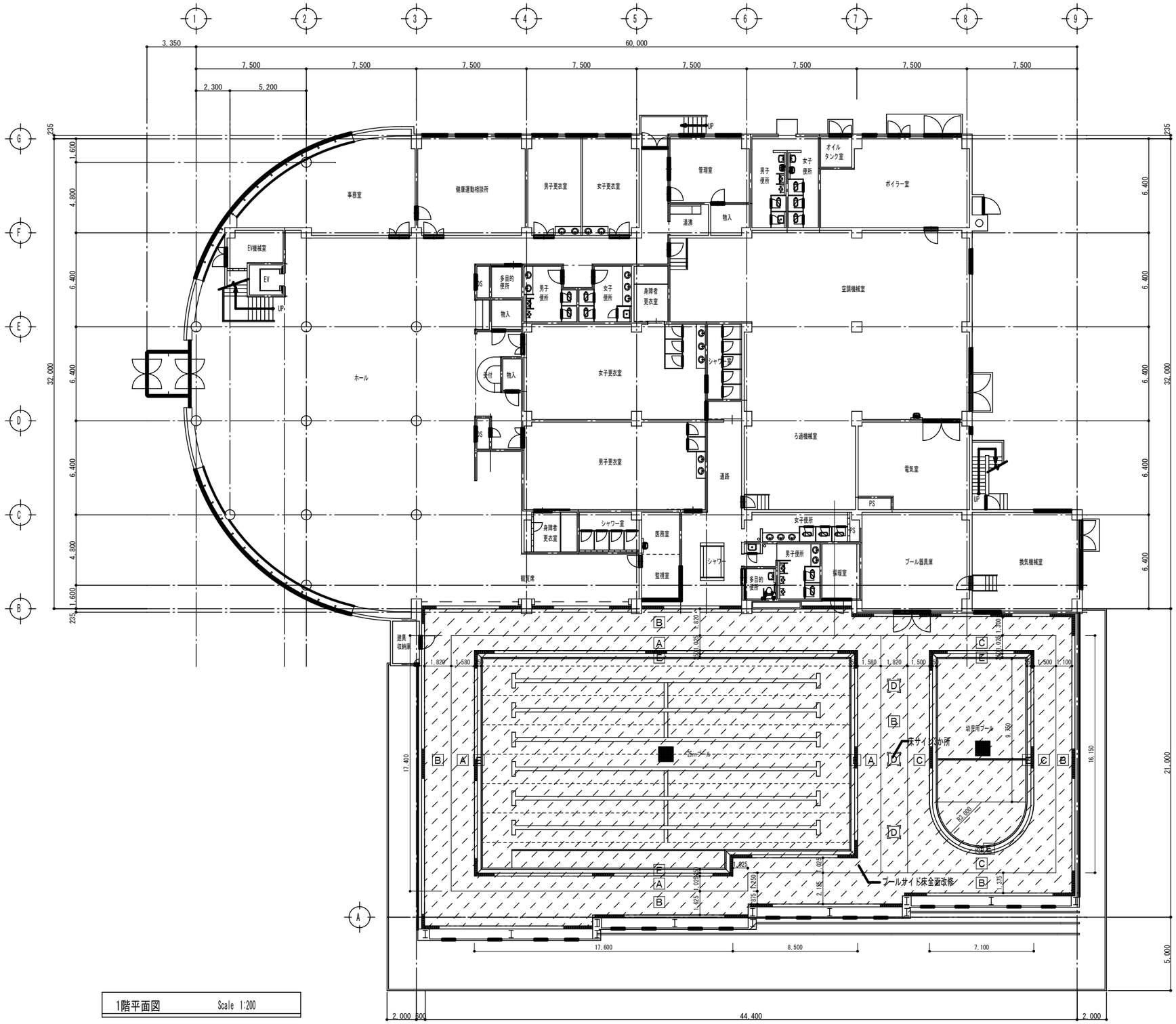
外部のクレーン配置場所は施設側と調整する事。　既設サッシ部廻りは養生し、工事で発生した損傷や汚れは是正する事。

プール資材搬入後、プール工事の支障となるため仮設足場は順次撤去とする。

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME	仮設計画図-2	Scale 1:200	DRAWING NO. A-09



D：アートカット詳細図

床サイン3か所共　900角
既設デザインと同じとする

改修仕様(新設)

A タキストロンＳＴ　ST-912
B タキストロンＳＴ　ST-711　3色使い
C タキストロンＳＴ　ST-811
D タキストロンＳＴ　アートカット
E ハイスイカラットＨＳ　HS-804
(タイル撤去部、溝斫り部、モルタル塗り共)
※ タキストロン文字シリーズ（詳細位置は別図面参照）
水深標示１２箇所
距離標示６箇所
コース標示１２箇所
吸水口標示２箇所

現況仕様(撤去)

A ～ D ビニル床シート、シーリング
E ビニル床シート、シーリング
下地タイル撤去の上、溝斫りW100H50
カッター入れ共

凡例

改修部分を示す

1階平面図　Scale 1:200

Yoshimura Architecture RadicalDesign

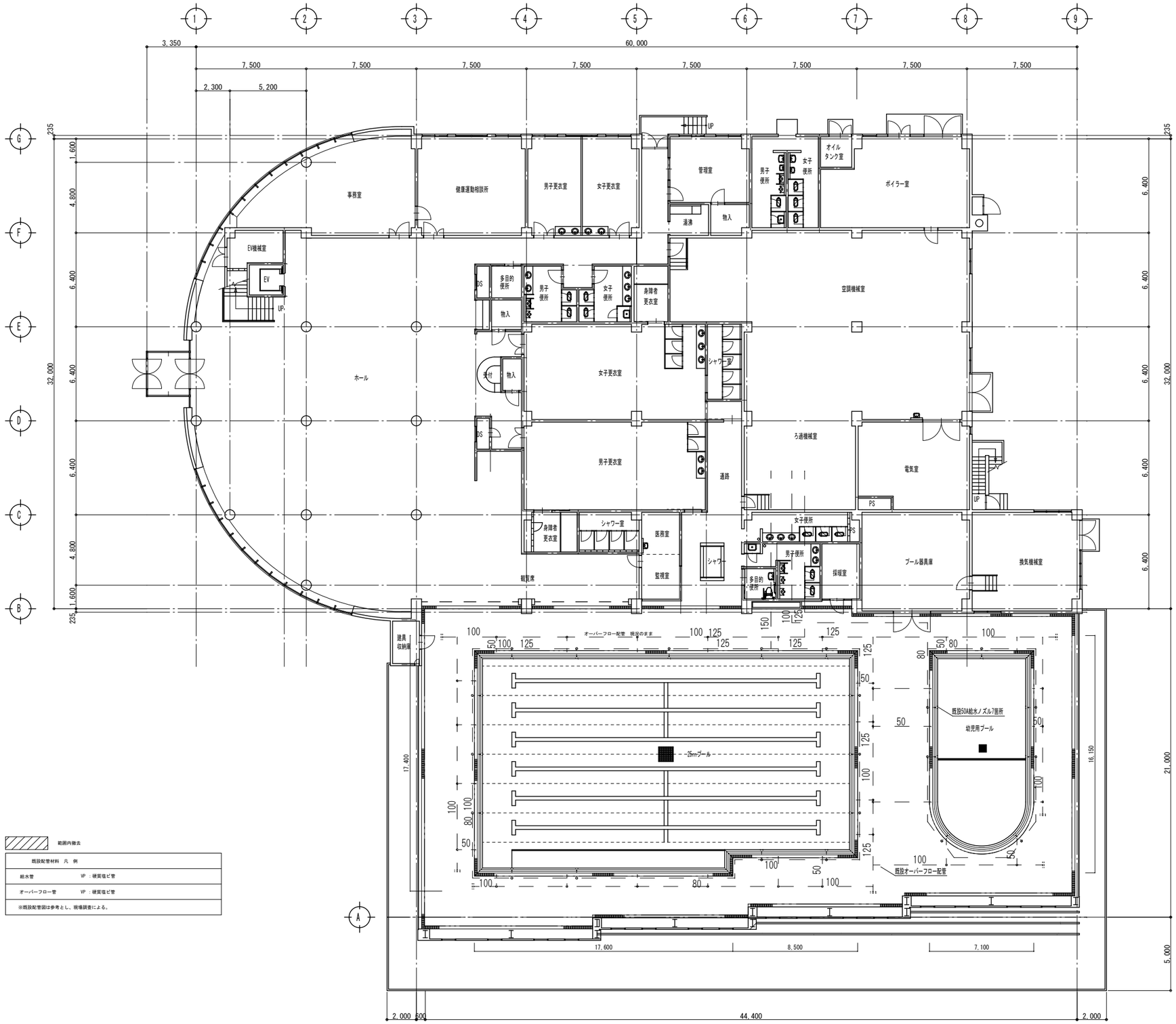
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本住町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

※本図は設計図書及び現地調査により復元したものである。

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME	1階平面図	Scale 1:200	DRAWING NO. A-10



範囲内撤去

既設配管材料　凡　例	
給水管	VP：硬質塩ビ管
オーバーフロー管	VP：硬質塩ビ管
※既設配管図は参考とし、現場調査による。	

Yoshimura Architecture RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号

YARD 吉村建築設計

一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治

奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

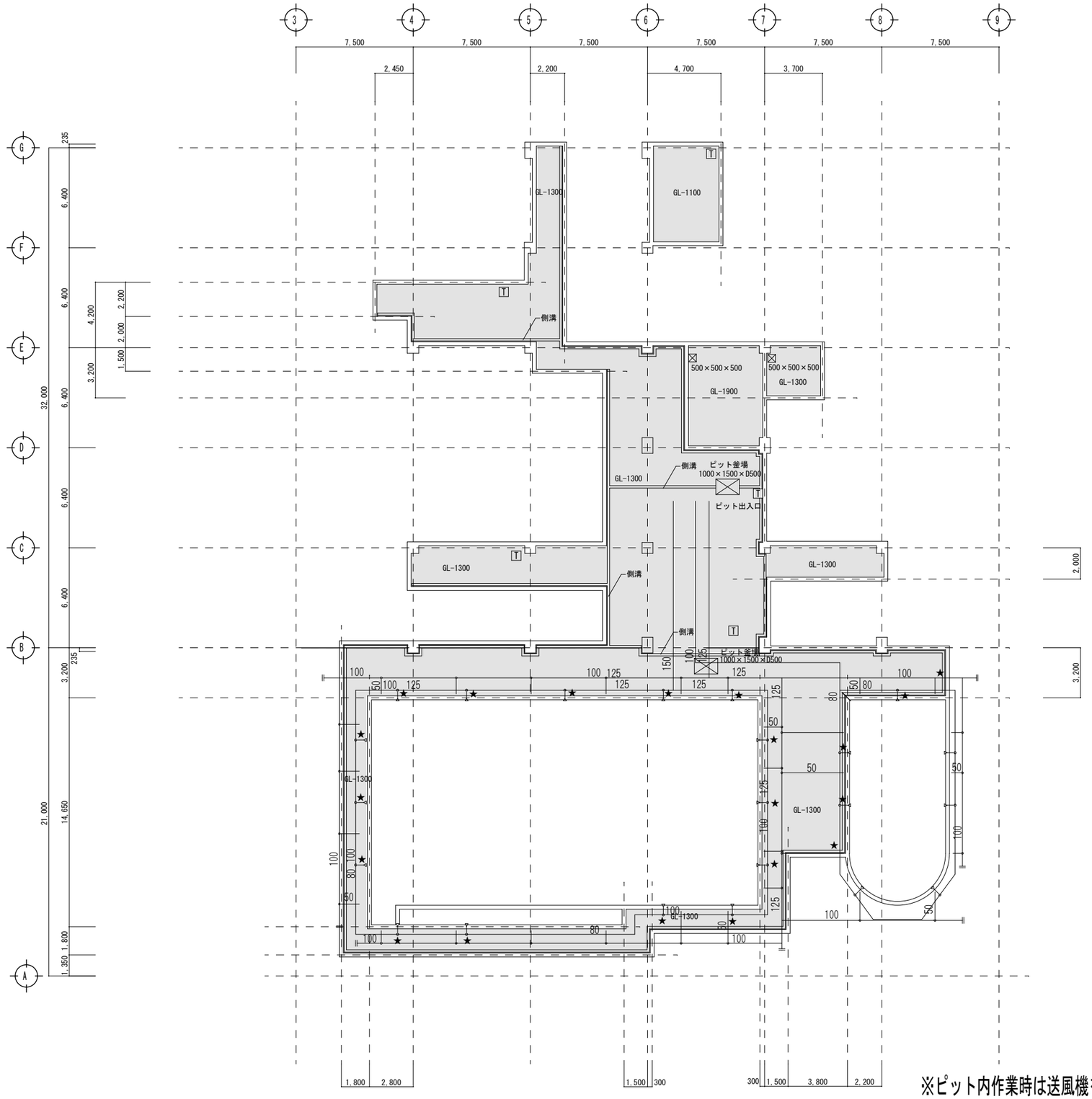
九条公園プール更新工事　設計図

DATE | DRAW K.Yoshi | RECOGNIZE | OWNER

DRAWING NAME：１階配管現況図

Scale 1:200

DRAWING NO. A-11



既設配管材料 凡 例	
給水管	VP ：硬質塩ビ管
オーバーフロー管	VP ：硬質塩ビ管
★	配管分岐及び切断箇所 キャップ止め
※既設配管図は参考とし、現場調査による。	

※ピット内作業時は送風機を適宜設置の上、空気測定を必ず実施の事

Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所 奈良県 第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士 第２２９７６３号 吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1 TEL０７４３－５７－４７５２

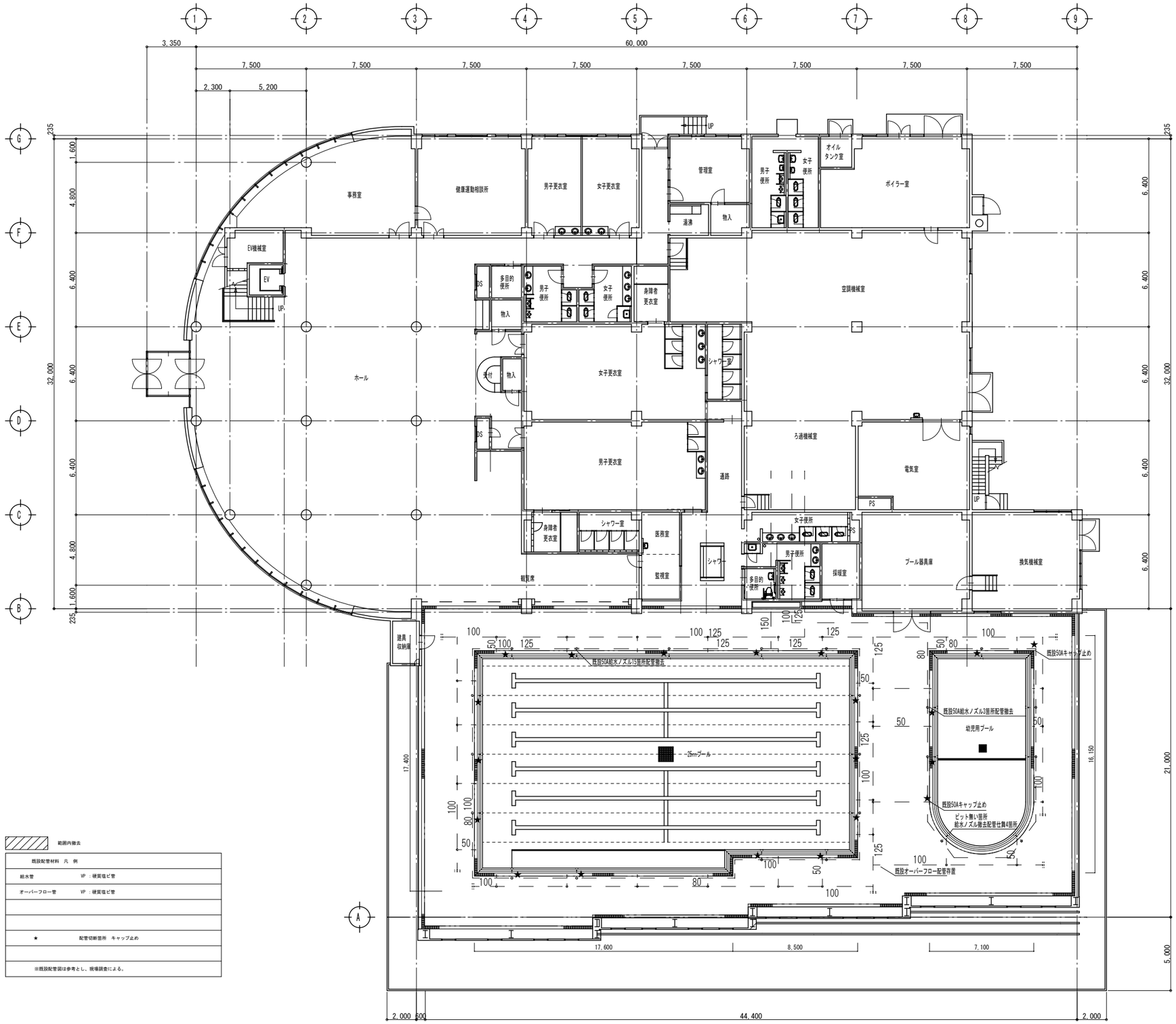
九条公園プール更新工事 設計図

DATE | DRAW K.Yoshi | RECOGNIZE | OWNER

DRAWING NAME: ピット配管現況図

Scale 1:200

DRAWING NO. A-12



範囲内撤去

既設配管材料　凡　例	
給水管	VP ：硬質塩ビ管
オーバーフロー管	VP ：硬質塩ビ管
★	配管切断箇所　キャップ止め
※既設配管図は参考とし、現場調査による。	

Yoshimura Architecture RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号

YARD 吉村建築設計

一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治

奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

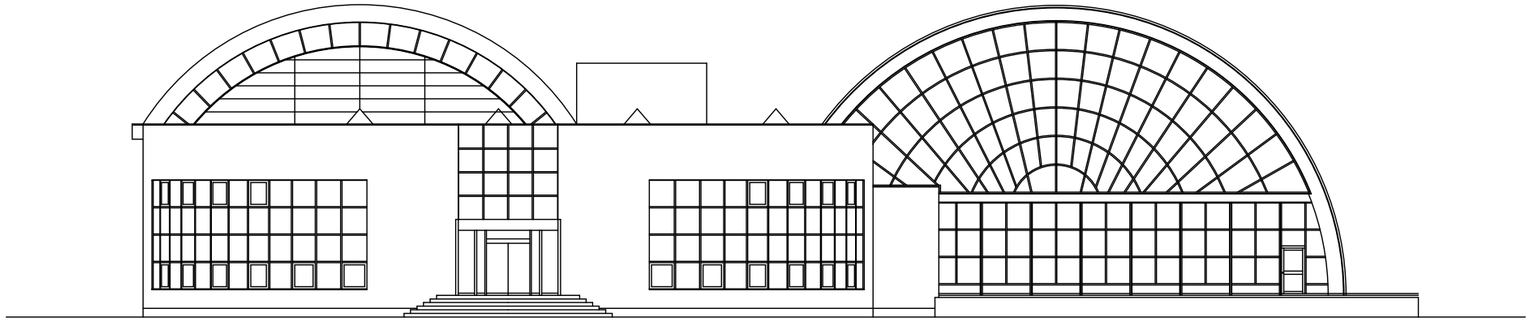
九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

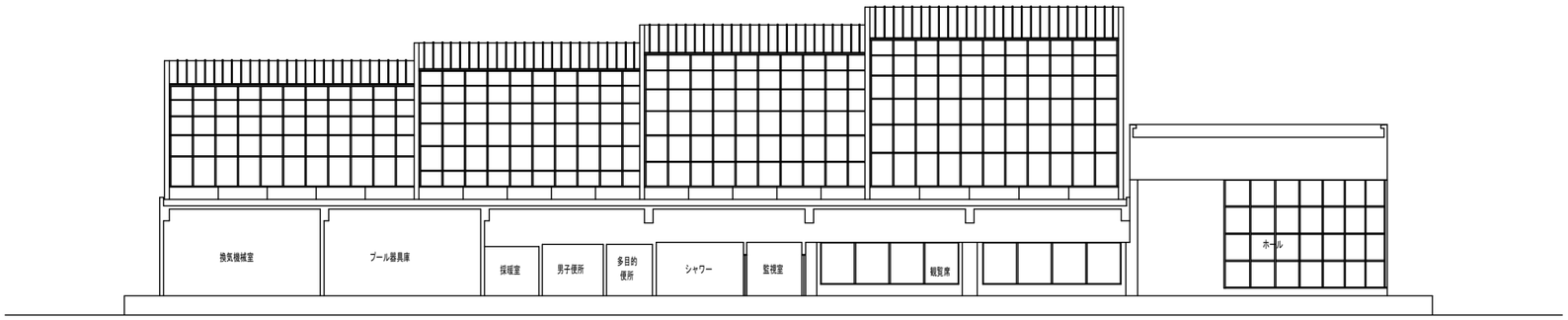
DRAWING NAME: １階ピット配管撤去図

Scale 1:200

DRAWING NO. A-13



西立面図　　Scale 1:200



北立面図　　Scale 1:200

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本住町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

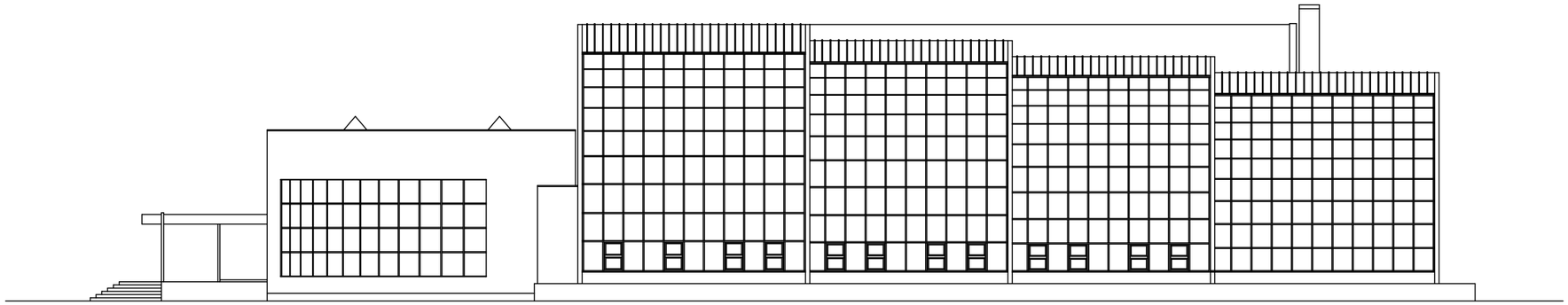
※本図は設計図書及び現地調査により復元したものである。

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME	立面図－1	Scale 1:200	DRAWING NO. A-14

東立面図　　Scale 1:200



南立面図　　Scale 1:200

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

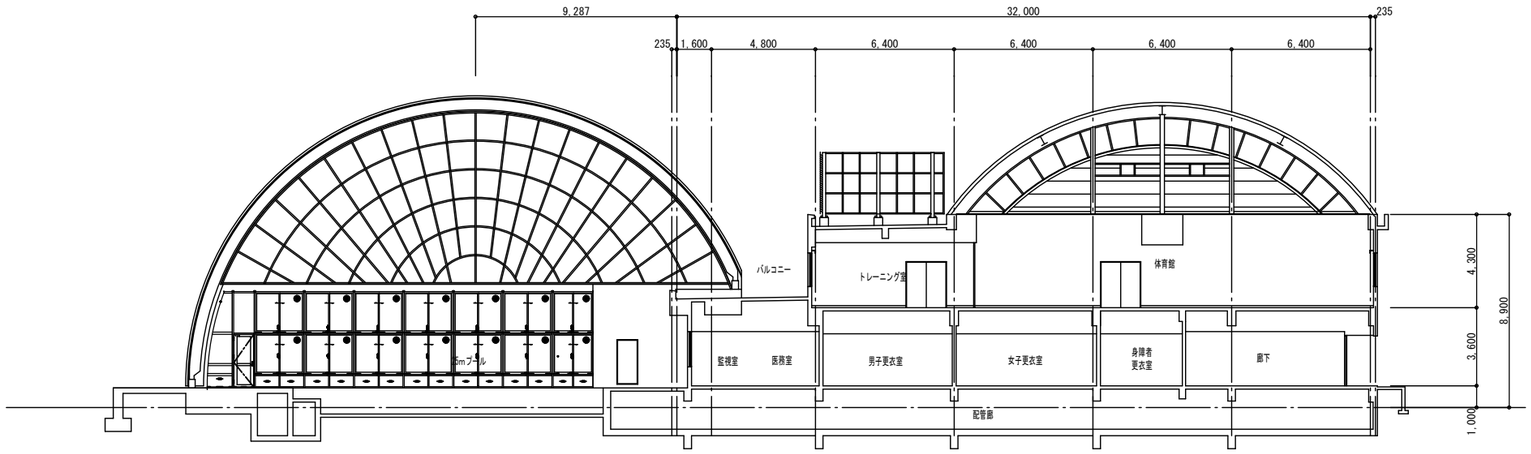
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本住町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

※本図は設計図書及び現地調査により復元したものである。

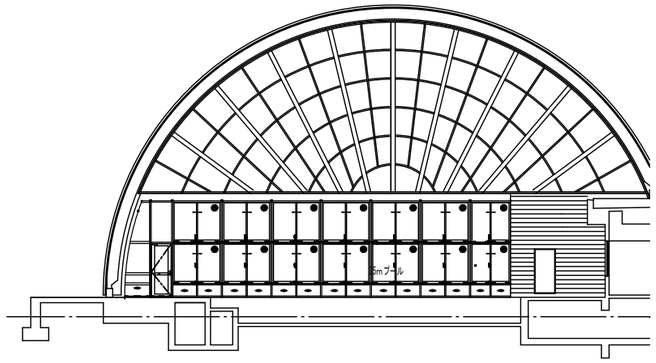
九条公園プール更新工事　設計図

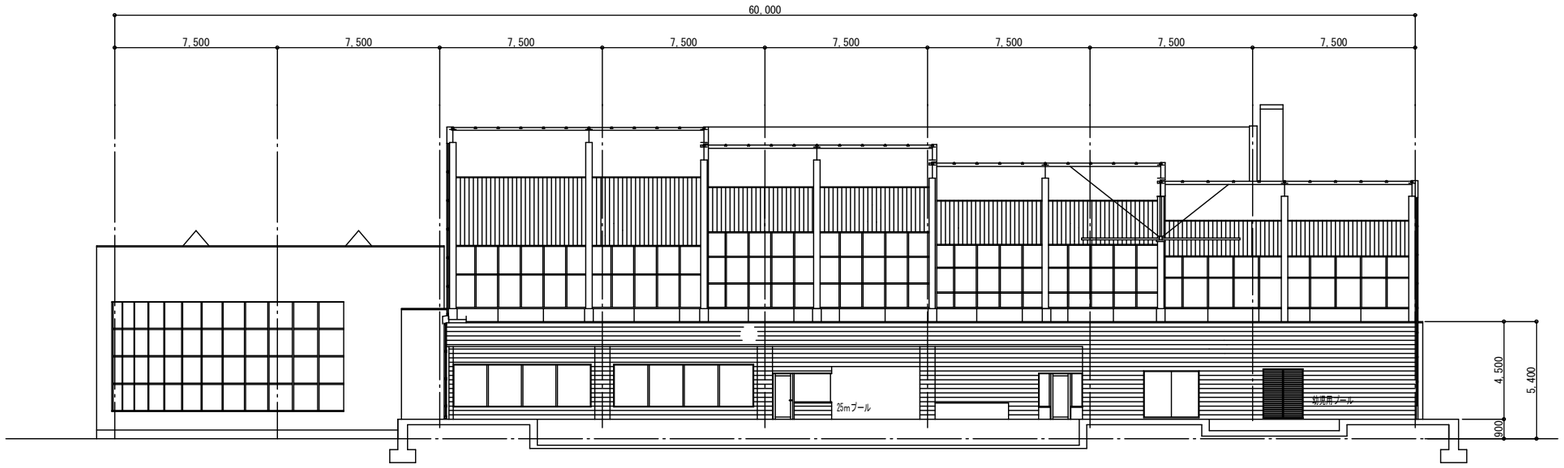
DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME	立面図－2	Scale 1:200	DRAWING NO. A-15



南北断面図　Scale 1:200





東西断面図　Scale 1:200

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号

YARD 吉村建築設計

一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治

奈良県大和郡山市本住町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

※本図は設計図書及び現地調査により復元したものである。

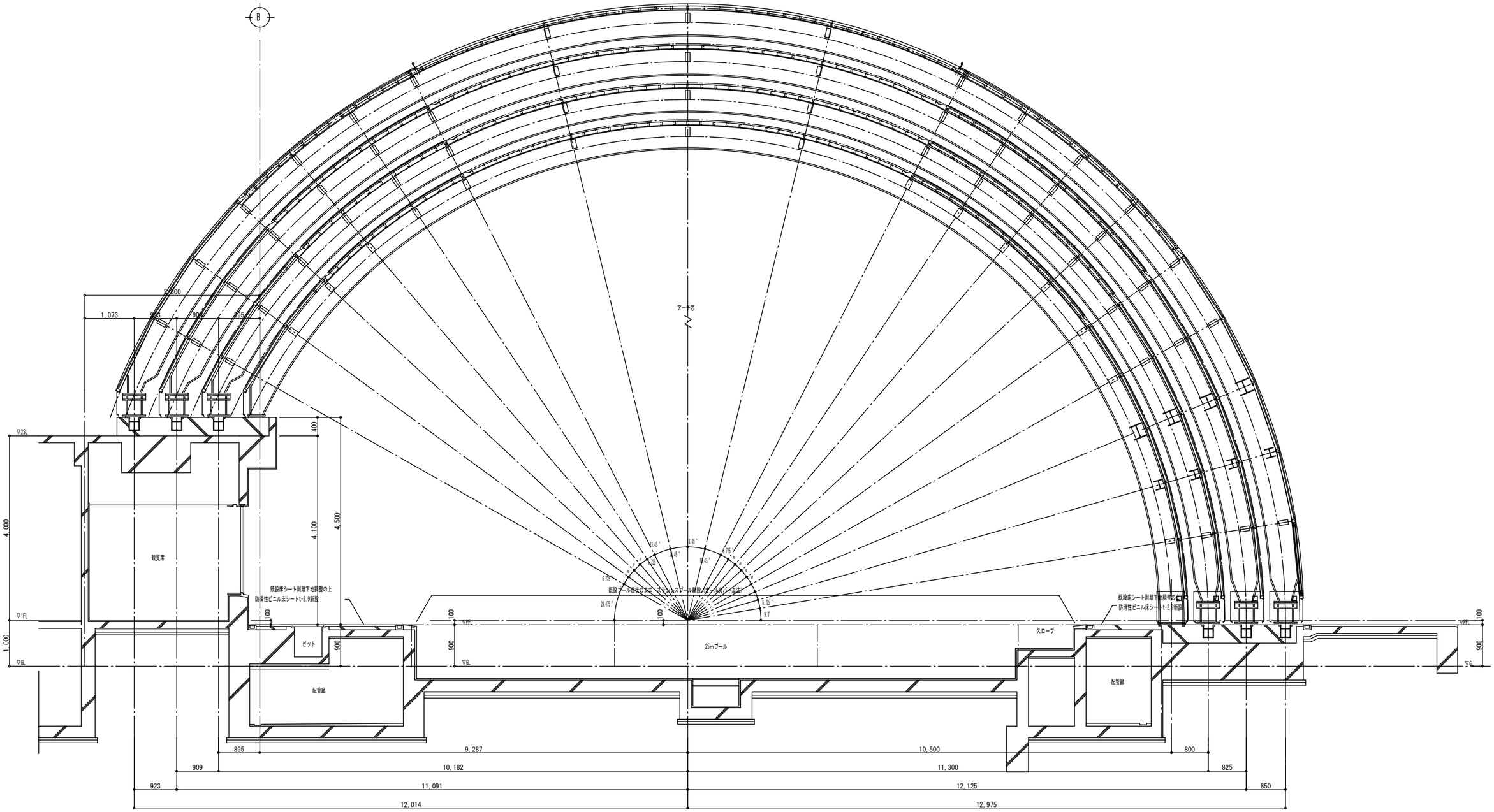
九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW	RECOGNIZE	OWNER
	K.Yoshi		

DRAWING NAME

断面図　Scale 1:200

DRAWING NO. A-16



矩計詳細図　Scale 1:60

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

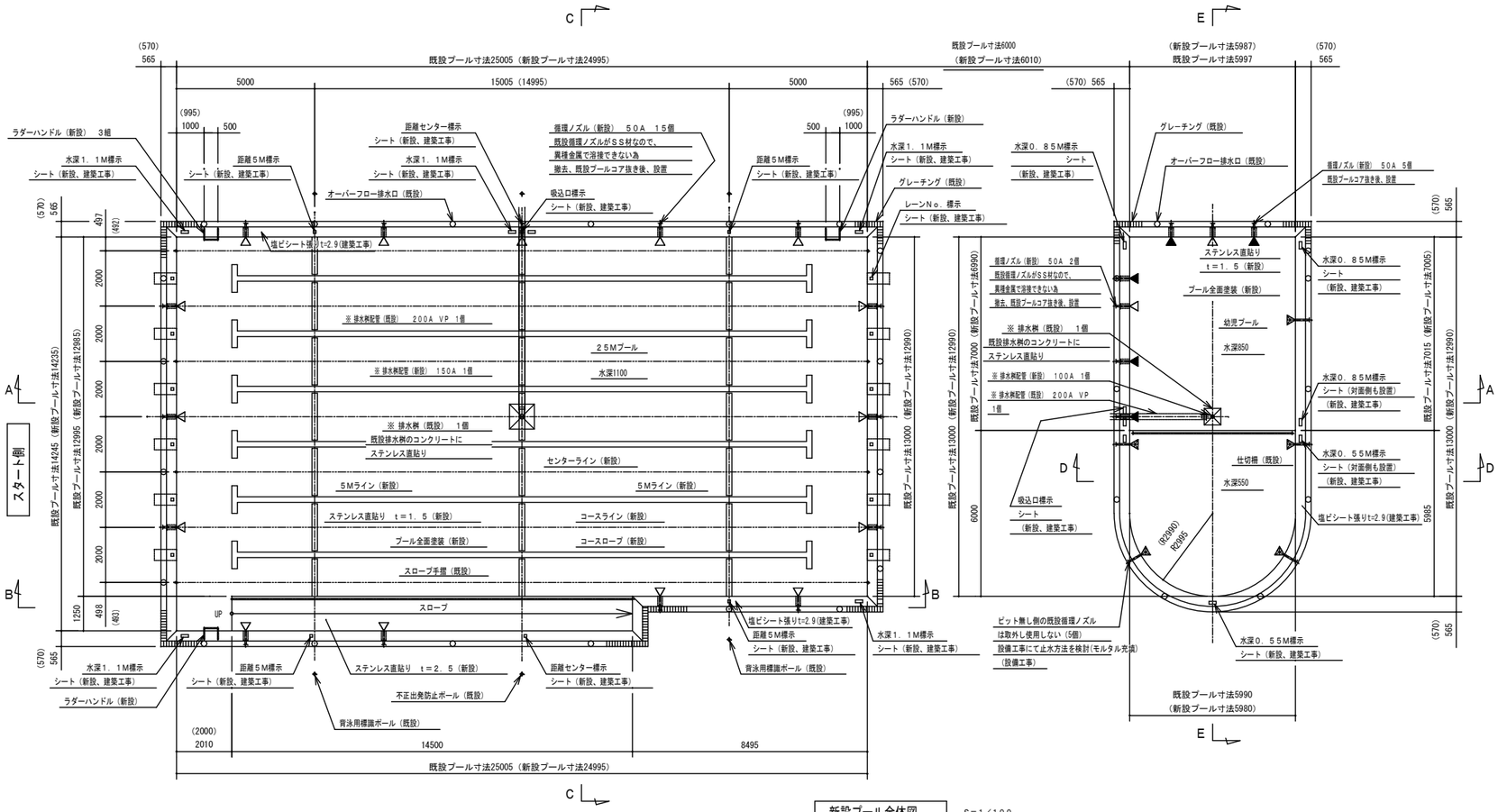
※本図は設計図書及び現地調査により復元したものである。

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

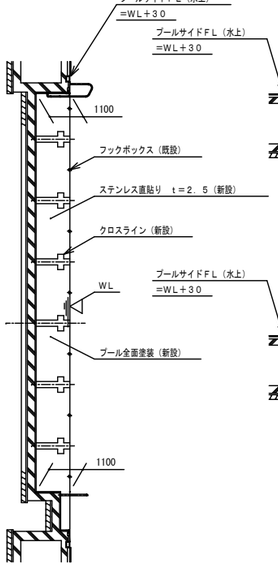
DRAWING NAME: 矩計詳細図　Scale 1:60

DRAWING NO. A-17

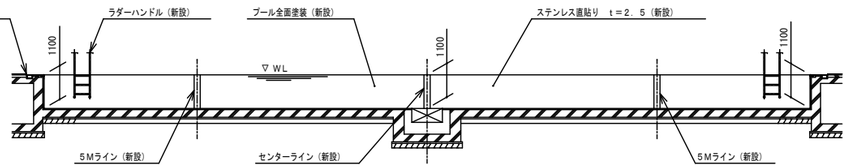


新設プール全体図　S＝1／100

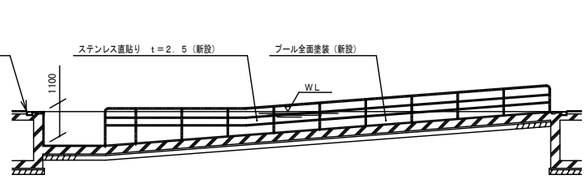
（ ）内寸法は新設プール寸法を示す



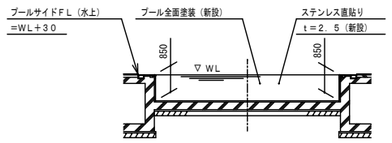
C－C断面　S＝1／100

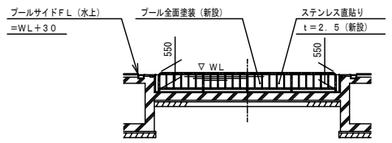


A－A断面　S＝1／100

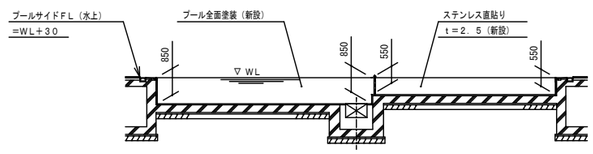


B－B断面　S＝1／100





D－D断面　S＝1／100



E－E断面　S＝1／100

：新設（既設循環ノズルがSS材なので、異種金属で溶接できない為撤去、既設プールコア抜き後、設置）

：新設（既設プールコア抜き後、設置）

：既設（ピット無し側の為使用しない。設備工事にて止水方法を検討）

循環ノズル 凡例

塗装プール本体仕様書

1．	概　要	ステンレス製全溶接構造			
		25Mプール　25M×13M　@2000　6レーン　スロープ付			
		水深1．1M			
		幼児プール　13M×6M　変形			
		水深0．85M・0．55M			
2．	材　料	側　板	SUS304	t＝2．5	
		底　板	SUS304	t＝1．5	
		取付金物	SUS304	t＝2．5	
3．	改修箇所	側面・底面ステンレス板直貼り	SUS304		1 式
		25Mプール排水桝	SUS304	150A JIS 5Kフランジ	1 個
		幼児プール排水桝	SUS304	100A JIS 5Kフランジ	1 個
		25Mプール循環ノズル	SUS304	50A JIS10Kフランジ	15 個
		幼児プール循環ノズル	SUS304	50A JIS10Kフランジ	7 個
		ラダーハンドル	SUS304		3 組
		幼児プールラダーハンドル	SUS304		2 組
		レーンロープ	樹脂製	φ60	7 本
4．	塗　装	プール内面			
		素地調整	ケレン、脱脂		
		下塗プライマー	エポキシ樹脂塗料		1 回塗
		中　塗	エポキシ樹脂塗料		1 回塗
		上　塗	アクリルウレタン樹脂塗料		2 回塗
		ノンスリップ塗装	珪砂散布		
		マーキング	レーン、クロス、5M、センターライン		
		プール外面　（底板下面除く）			
		変性エポキシ樹脂塗料　(300g/m²)			1 回塗

			プール本体工事	建築工事	設備工事
5．	工事区分	既設コンクリート撤去及びハツリ（配管用コアー抜き含む）		○（材、工共）	
		既設プール改修附属品金属部、撤去		○（材、工共）	
		既設仕切柵・スロープ手摺の洗浄		○（工）	
		既設仕切柵・スロープ手摺を新設プールへ取付	○（工）		
		既設プール排水桝及び排水管部のハツリ		○（材、工共）	
		既設排水管部と新設排水管部の取付後、既設排水桝部及び 既設・新設排水管部の埋め戻し		○（材、工共）	
		プール外周：ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂系高弾性ｼｰﾘﾝｸﾞ（バックアップ材含む）		○（材、工共）	
		既設プールシート貼り部撤去		○（材、工共）	
		新設プールシートマーキング標示一式（水深、距離、レーンNo等）		○（材、工共）	
		既設プールタイル突起部のタイルカット		○（材、工共）	
		オールアンカー	○（材、工共）		
		新設各ノズル接続フランジ以降の配管及び配管サポート			○（材、工共）
		新設各ノズル接続フランジのパッキン、取付ボルト			○（材、工共）
		新設各ノズル接続フランジ以降の配管内の切粉清掃			○（材、工共）
		幼児プールピット無し側の既設循環ノズルの止水一式			○（材、工共）
		搬入・搬出用のレッカー及び発電機60KVA		○（材、工共）	
		搬入用のスロープ・ステージの設置		○（材、工共）	
		プール内搬入用仮設設備の設置・撤去一式 （張り出しステージ・ローリングタワー・足場・ウィンチ・コンパネ養生）		○（材、工共）	
		既設オーバーフローなぎさ部切込み溝ハツリ加工 モルタル復旧及びシーリング施工一式		○（材、工共）	
		既設吐出ノズル撤去、170φコア抜き及び埋戻し（ピット内より）		○（材、工共）	
		既設プール90°コーナー部タイル目地の90°切込み加工		○（材、工共）	
		既設畦部の側面立上りからタイル出っ張り部分の面取り		○（材、工共）	
		新設排水桝の排水配管のセット及び埋戻し	○（材）	○（工）	
		既設フックBOXの撤去及び箱抜き		○（材、工共）	
		既設プール立上り面レベル調査し、25M・幼児用毎に最高高さを位置出し		○（工）	
6．	検　査	底板　：　溶接部は全線、真空試験を行う　（圧力－0．053MPa）			
		但し、真空検査不可能な箇所は浸透探傷試験（カラーチェック）を行う			
		側板　：　溶接部は全線、真空試験又は浸透探傷試験（カラーチェック）を行う			
		寸法検査、外観検査			
7．	特記事項	1）　プール底板下クッション材（砕石）のClイオンはNaClにて			
		0．01wt%以下としPH5．5～12とする			
		2）　既設プールハツリ場所及びハツリ量は、現地測定の上、施工のこと			
		3）　各ノズルの配管サイズは、現地測定の上、施工のこと			
		4）　既設プール現地測定・調査の上、施工のこと			

注記。※印の排水桝部については現地調査の上、決定致します。

Yoshimura Architecture RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）1543号

YARD 吉村建築設計

一級建築士　第229763号　吉村勝治

奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL0743－57－4752

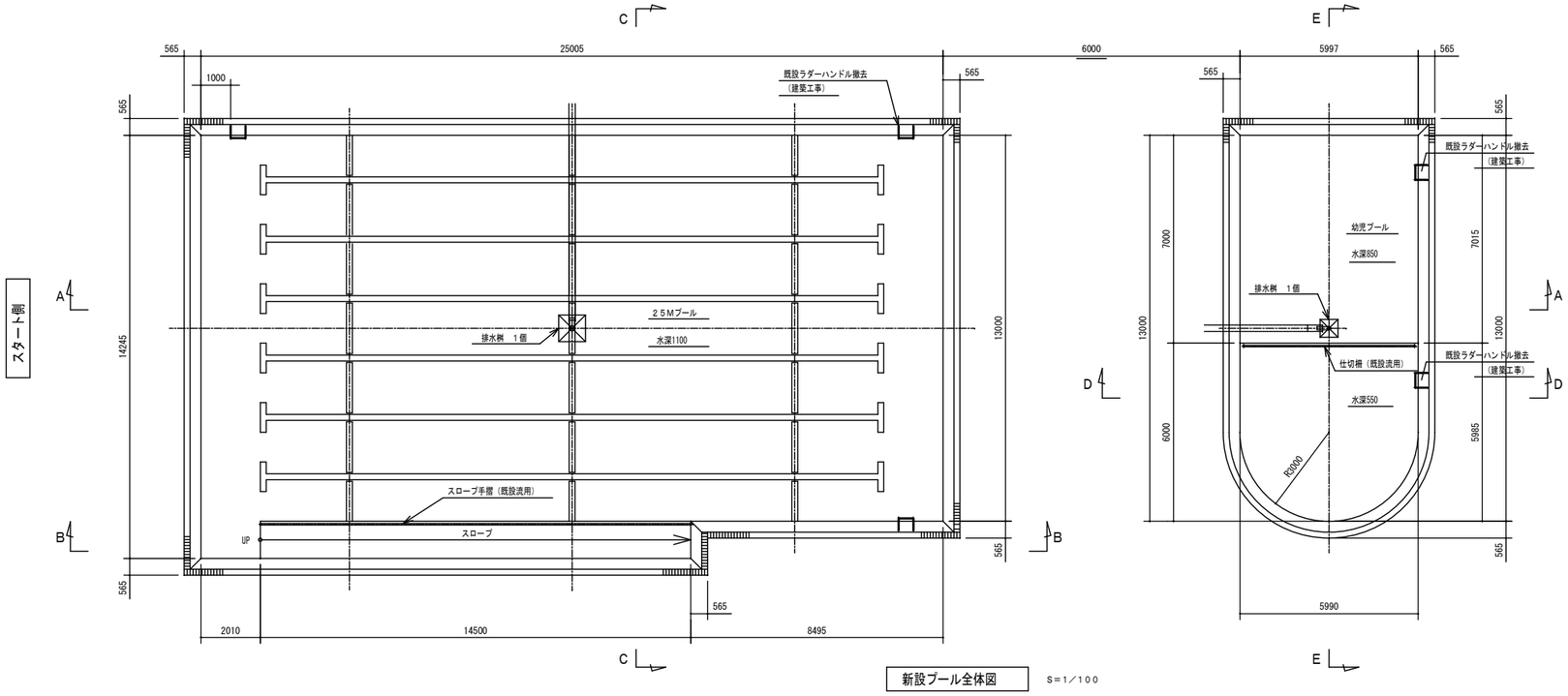
※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

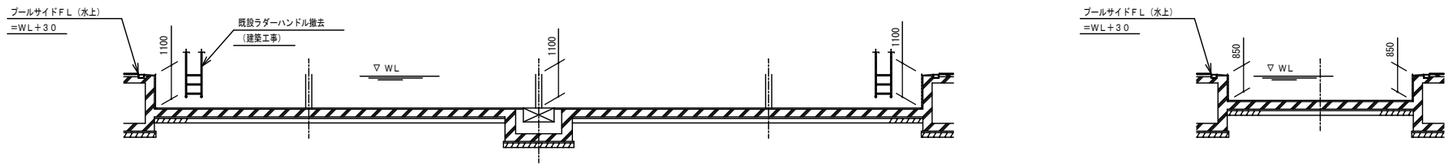
DATE	DRAW K,Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME：新設プール本体仕様書・全体図

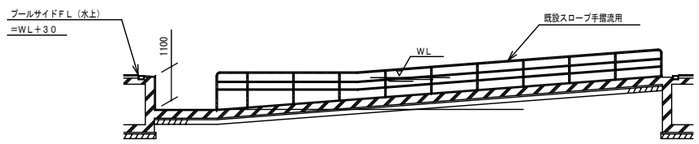
DRAWING NO. A-18



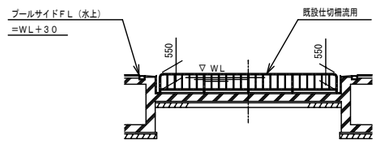
新設プール全体図　S＝1／100



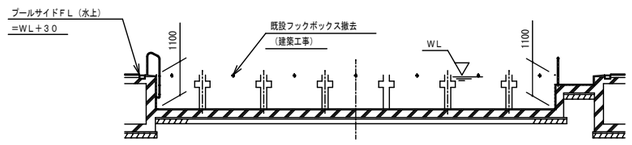
Ａ－Ａ断面　S＝1／100



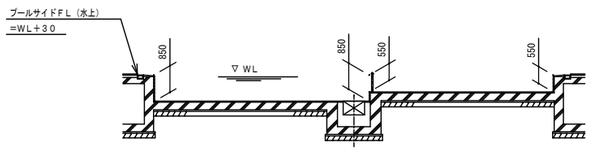
Ｂ－Ｂ断面　S＝1／100



Ｄ－Ｄ断面　S＝1／100



Ｃ－Ｃ断面　S＝1／100



Ｅ－Ｅ断面　S＝1／100

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

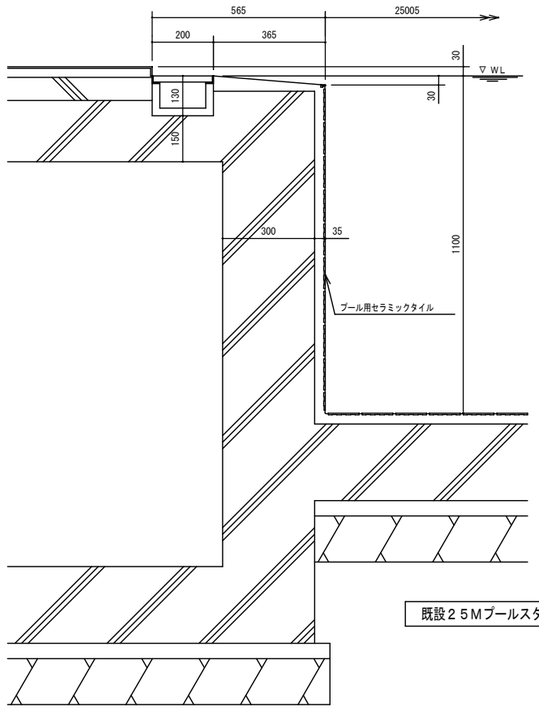
※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

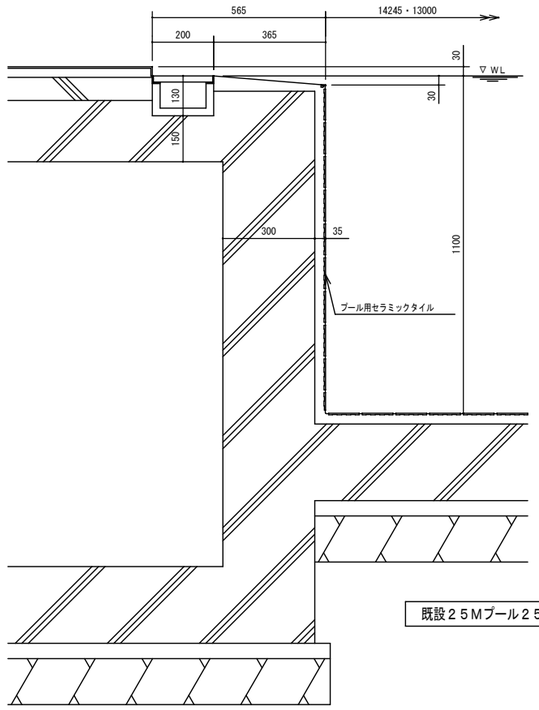
DATE　DRAW　K,Yoshi　RECOGNIZE　OWNER

DRAWING NAME　既設プール全体・断面図

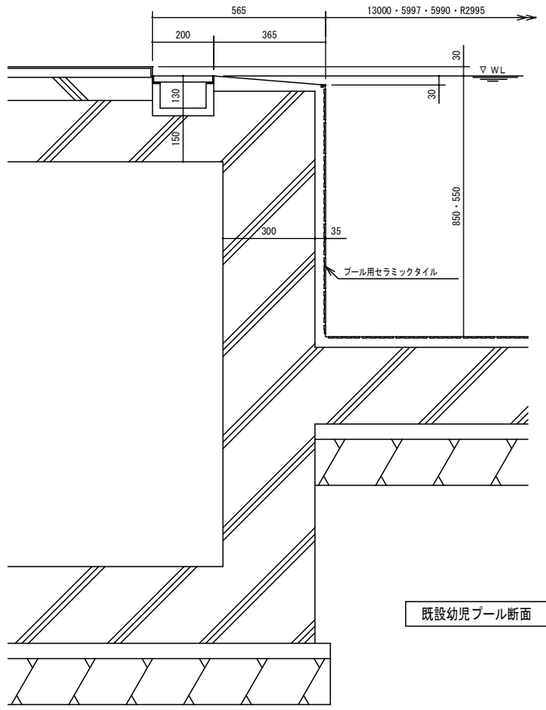
DRAWING NO.　A-19



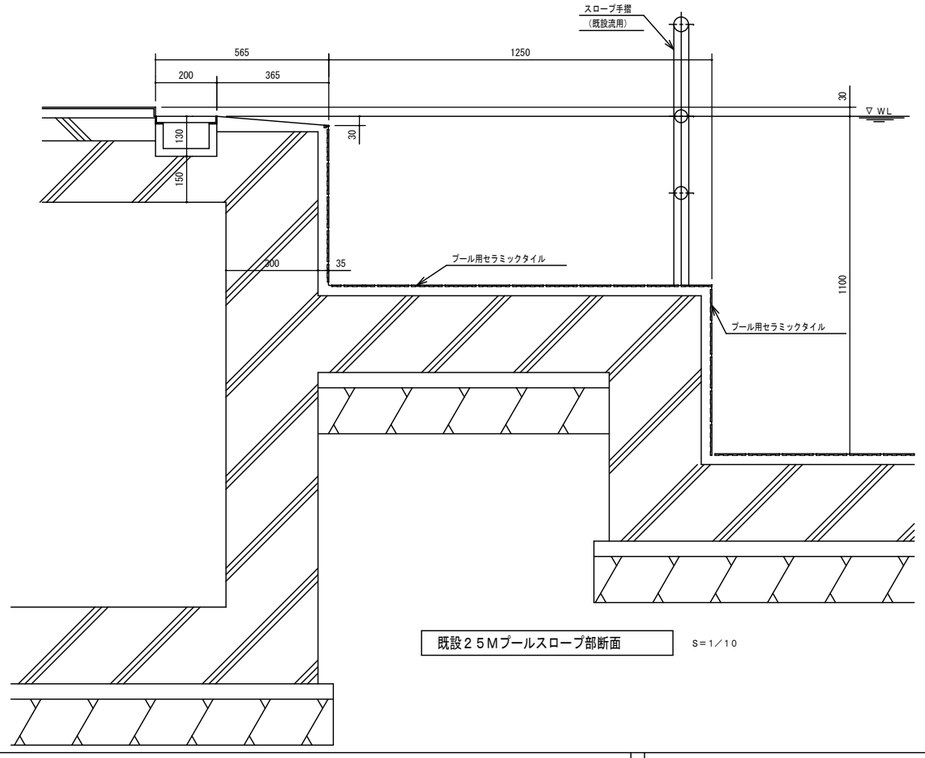
既設２５Ｍプールスタート・ターン側断面　S＝1／10



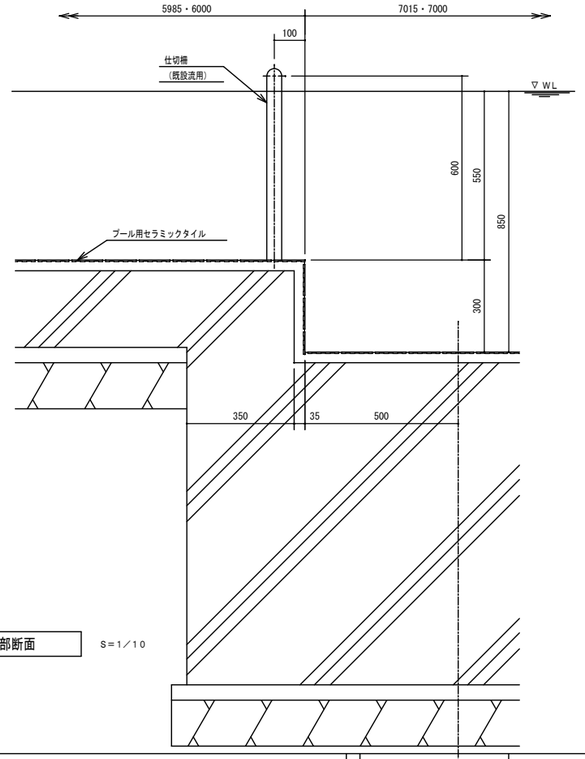
既設２５Ｍプール２５Ｍ方向側断面　S＝1／10



既設幼児プール断面　S＝1／10



既設２５Ｍプールスロープ部断面　S＝1／10



新設幼児プール仕切柵部断面　S＝1／10

注記．既設プール内面寸法は、全体図を参照のこと。

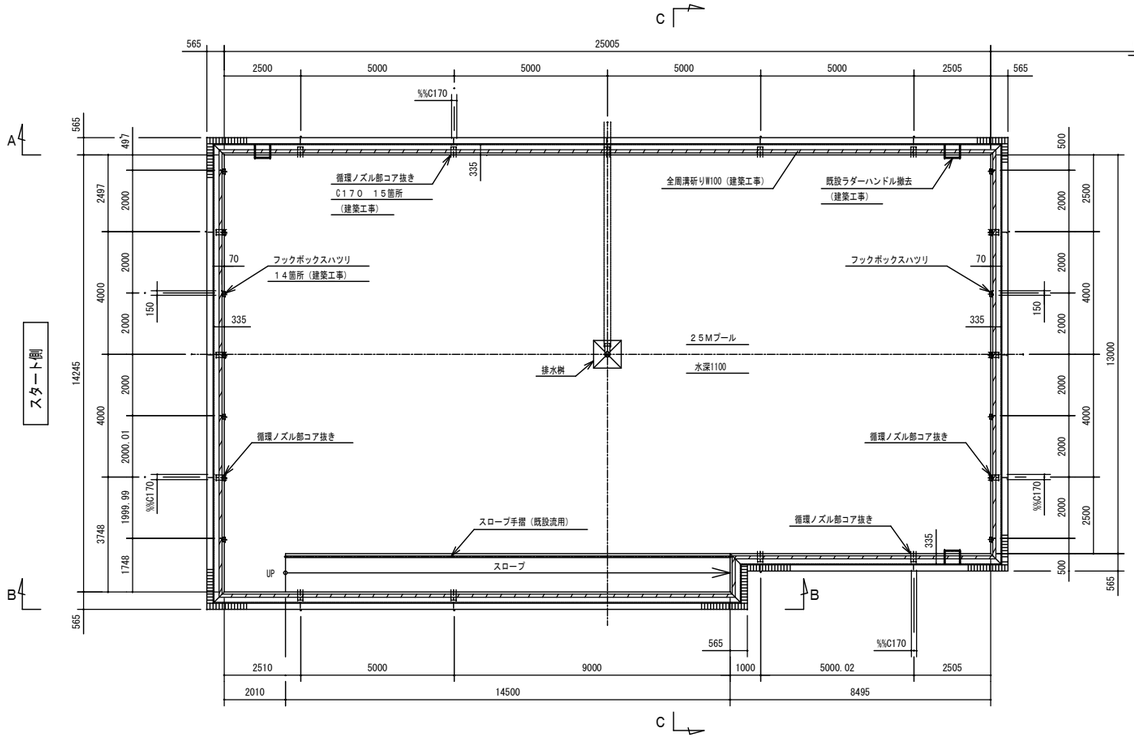
Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

九条公園プール更新工事　設計図

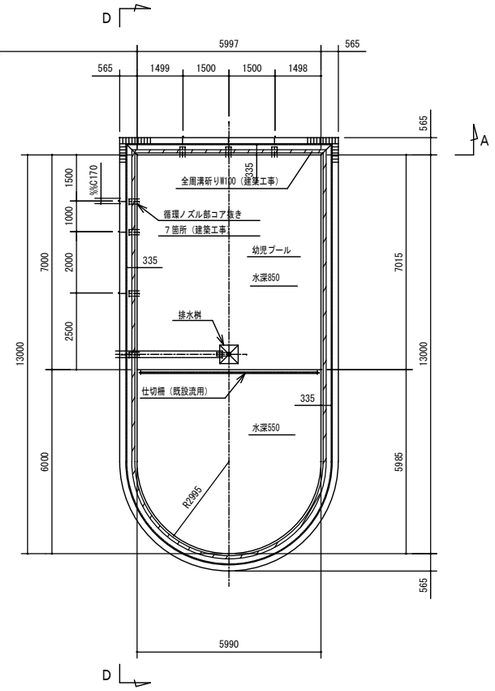
DATE　DRAW K,Yoshi　RECOGNIZE　OWNER

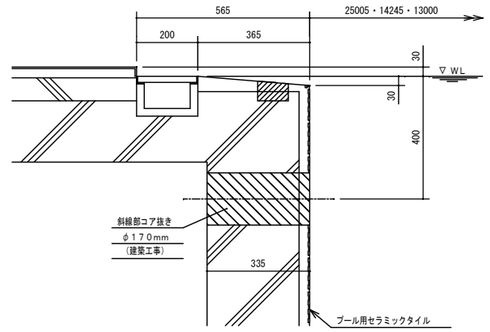
DRAWING NAME　既設プール全体・断面図②

DRAWING NO. A-20



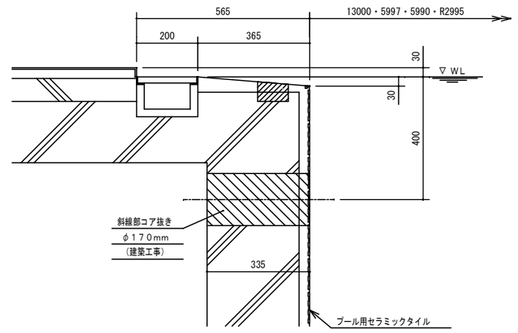
既設プールハツリ・コア抜き平面図　S＝1／100





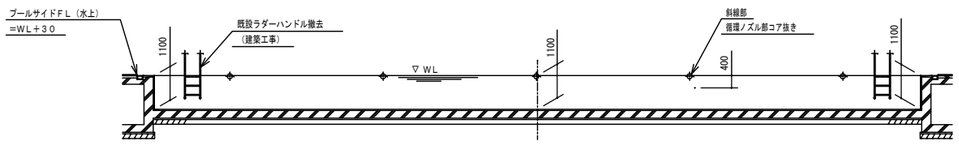
既設２５Ｍプール循環ノズル部コア抜き断面　S＝1／10

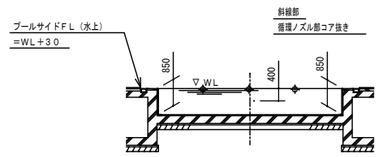
１５箇所



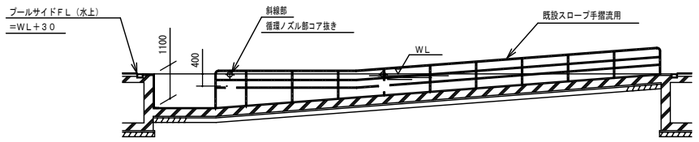
既設幼児プール循環ノズル部コア抜き断面　S＝1／10

７箇所

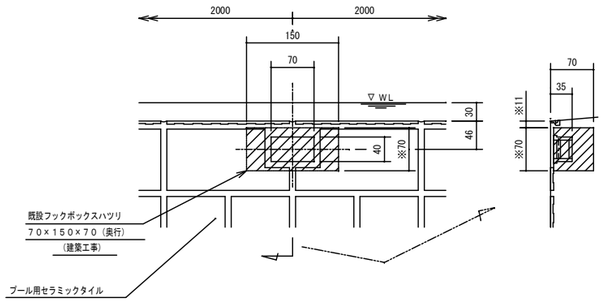




Ａ－Ａ断面　S＝1／100



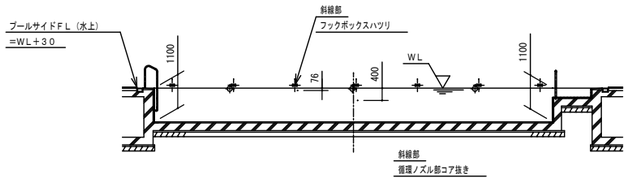
Ｂ－Ｂ断面　S＝1／100



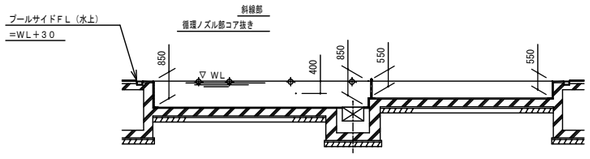
既設２５Ｍプールフックボックスハツリ断面　S＝1／5

１４箇所

※寸法は、現場調査後決定



Ｃ－Ｃ断面　S＝1／100



Ｄ－Ｄ断面　S＝1／100

注記．既設プール内面寸法は、全体図を参照のこと。

Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

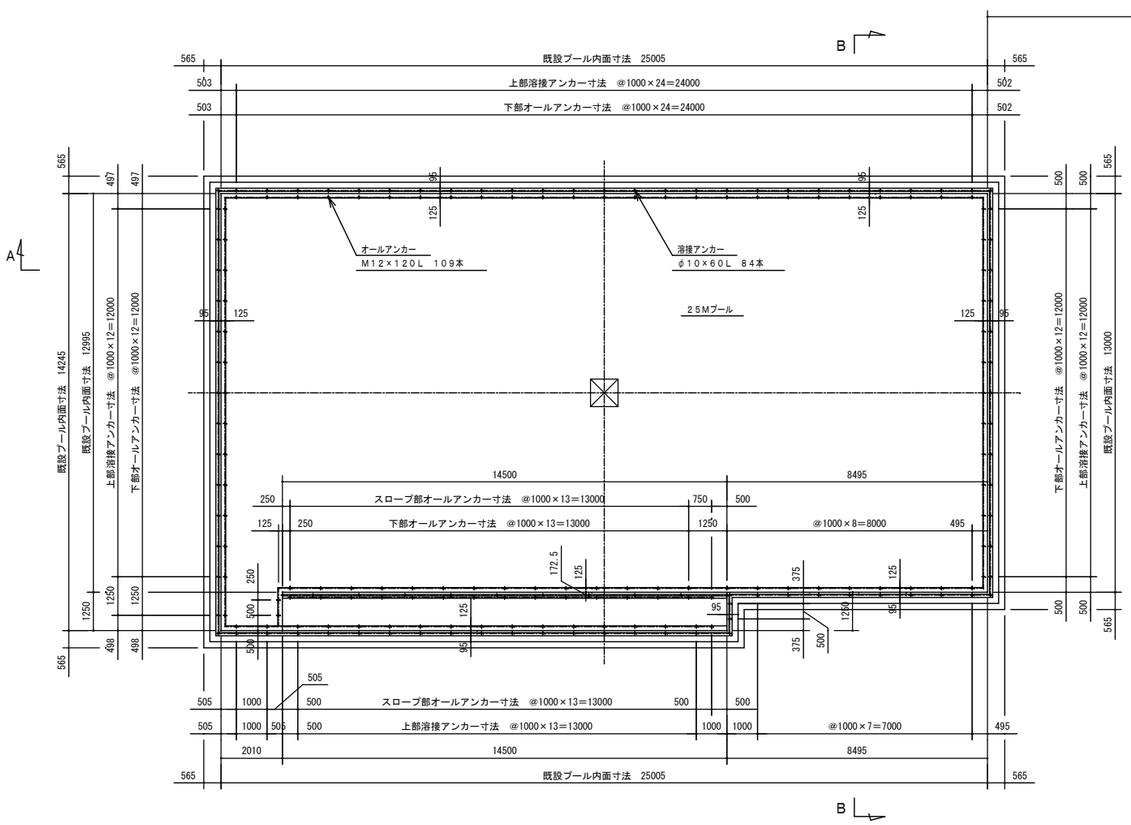
※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

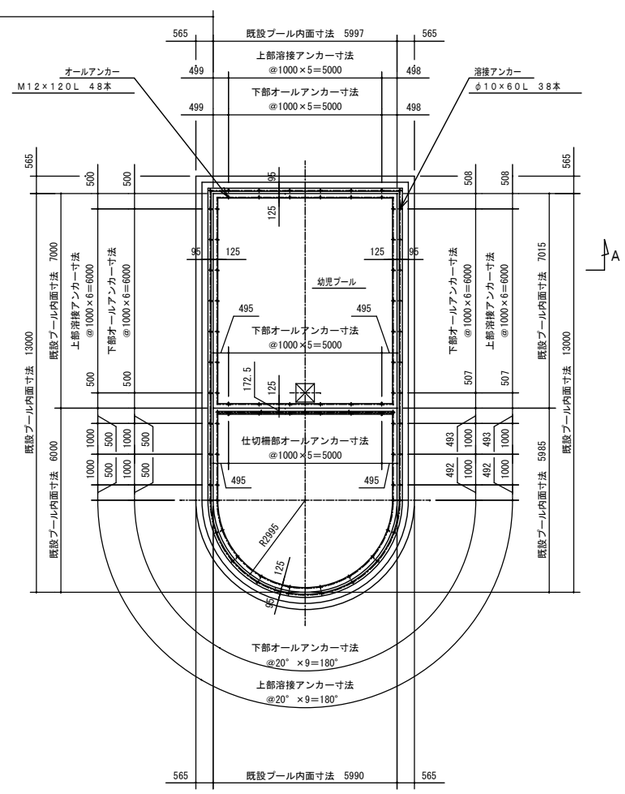
DATE　DRAW　K,Yoshi　RECOGNIZE　OWNER

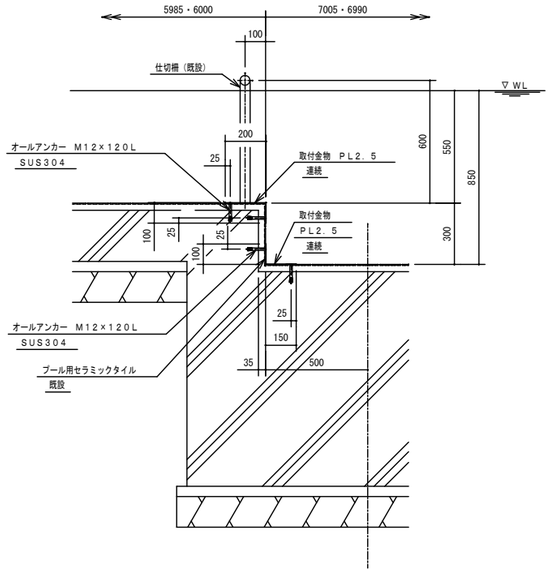
DRAWING NAME　既設プールハツリ・コア抜き

DRAWING NO.　A-21

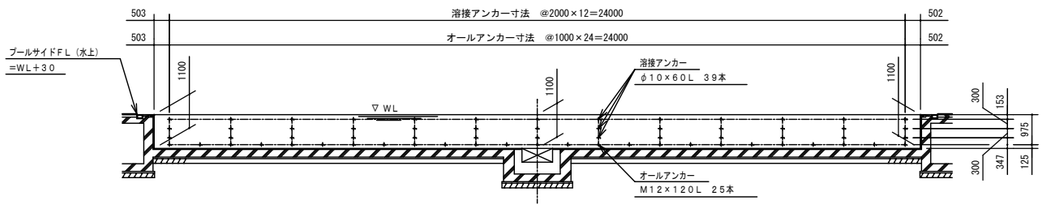


新設プールアンカープラン　S=1／100

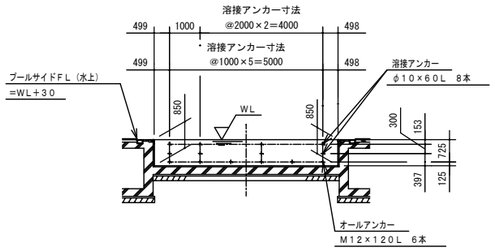


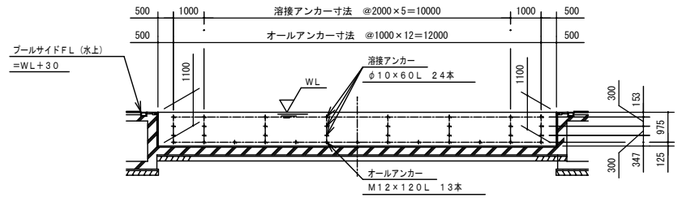


新設幼児プール仕切柵部断面　S=1／10

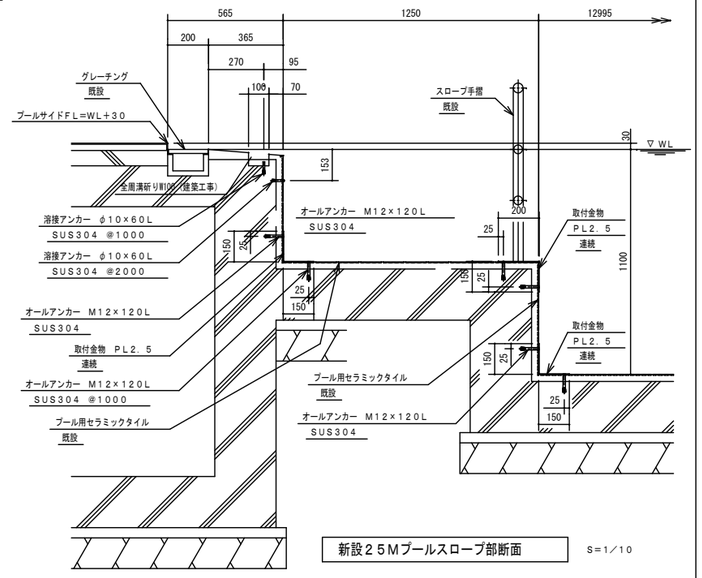


A－A断面　S=1／100





B－B断面　S=1／100



新設25Mプールスロープ部断面　S=1／10

Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）1543号
YARD吉村建築設計
一級建築士　第229763号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL0743－57－4752

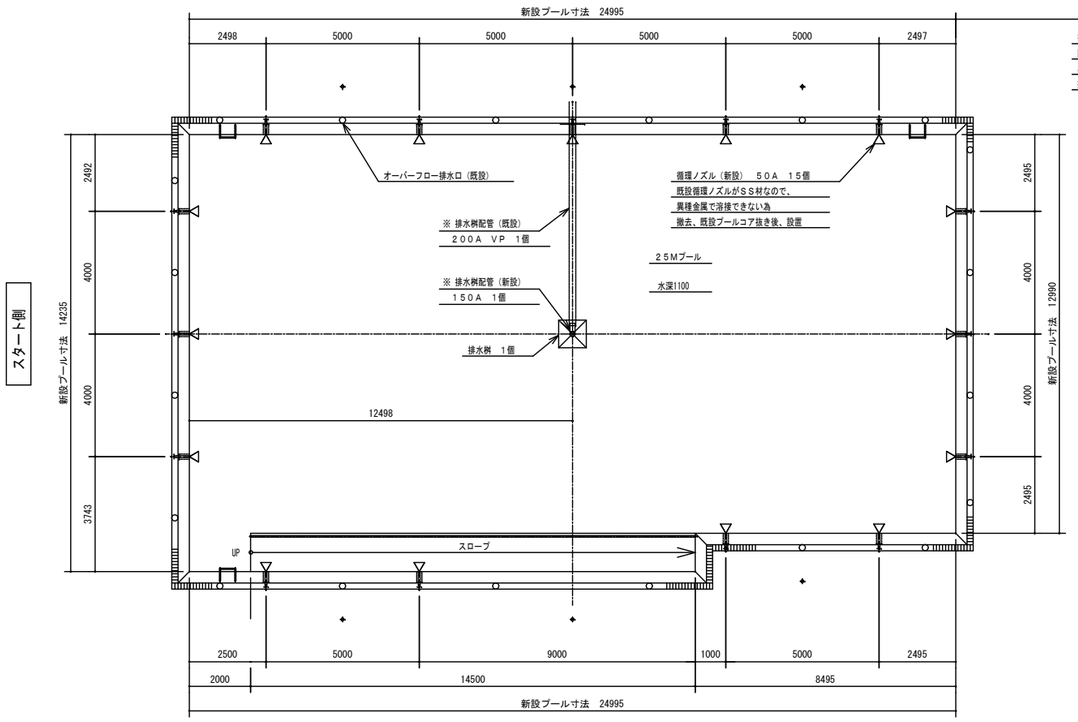
※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

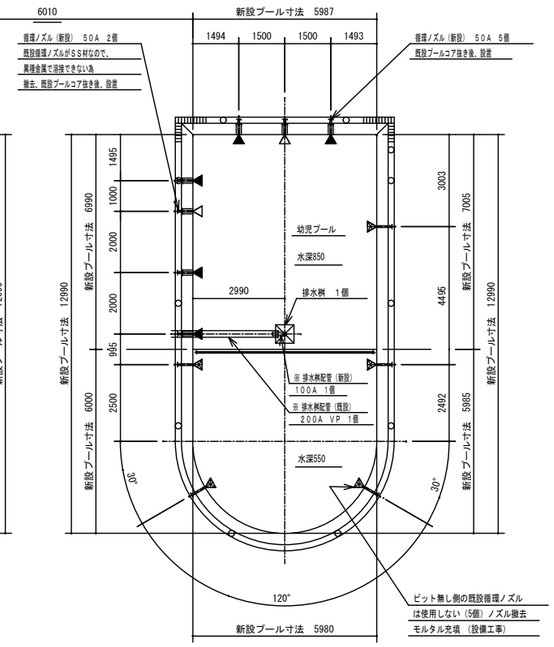
DATE	DRAW K,Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

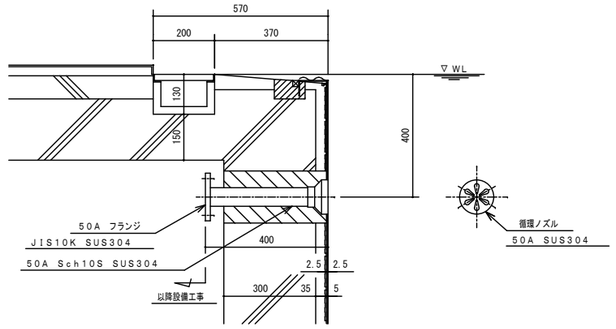
DRAWING NAME：アンカープラン

DRAWING NO. A-22

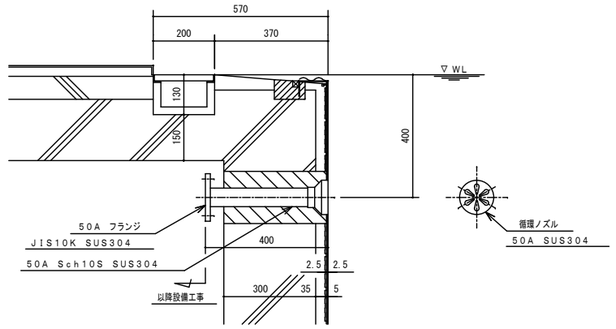


新設プールノズル配置図　S＝1／100

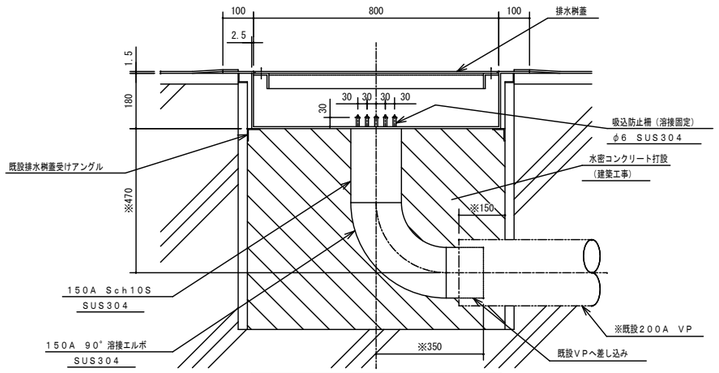




新設２５Ｍプール循環ノズル部断面　S＝1／10

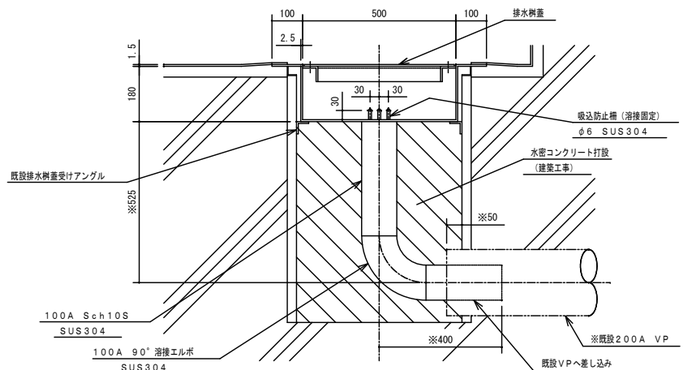


新設幼児プール循環ノズル部断面　S＝1／10



新設２５Ｍプール排水桝取付詳細　S＝1／10

※寸法は、現場調査後決定



新設幼児プール排水桝取付詳細　S＝1／10

※寸法は、現場調査後決定

注記。※印の排水桝部については現地調査の上、決定致します。

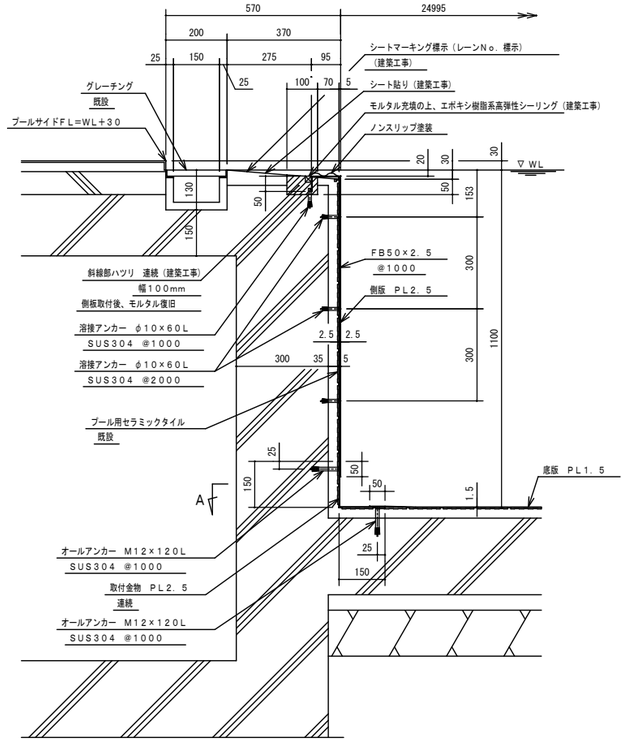
Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

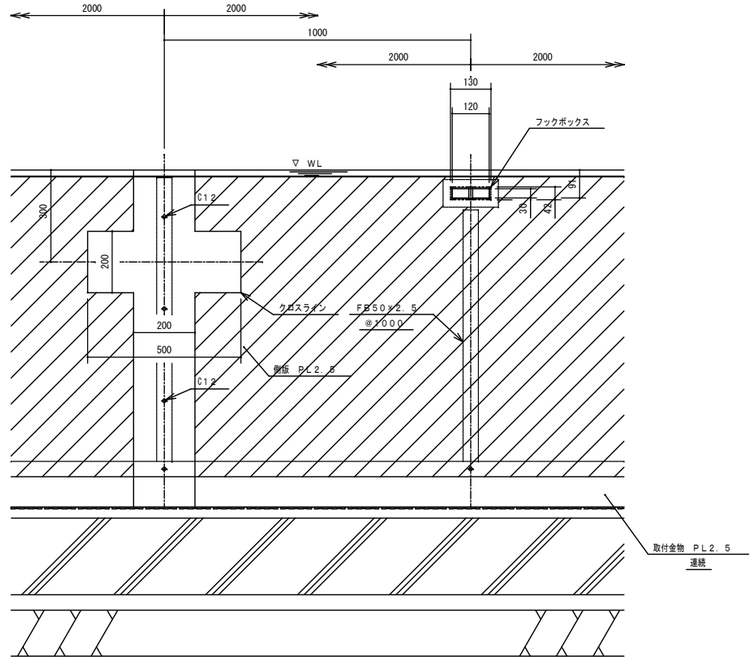
九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K,Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

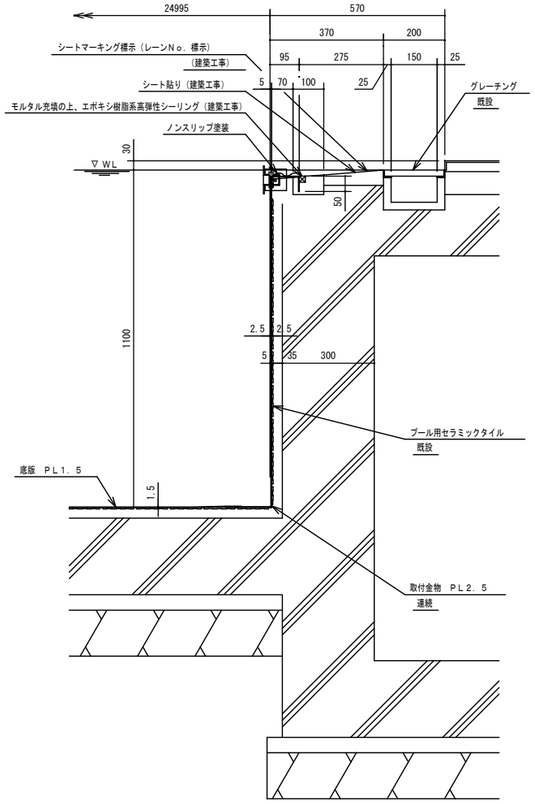
DRAWING NAME：ノズル配置図

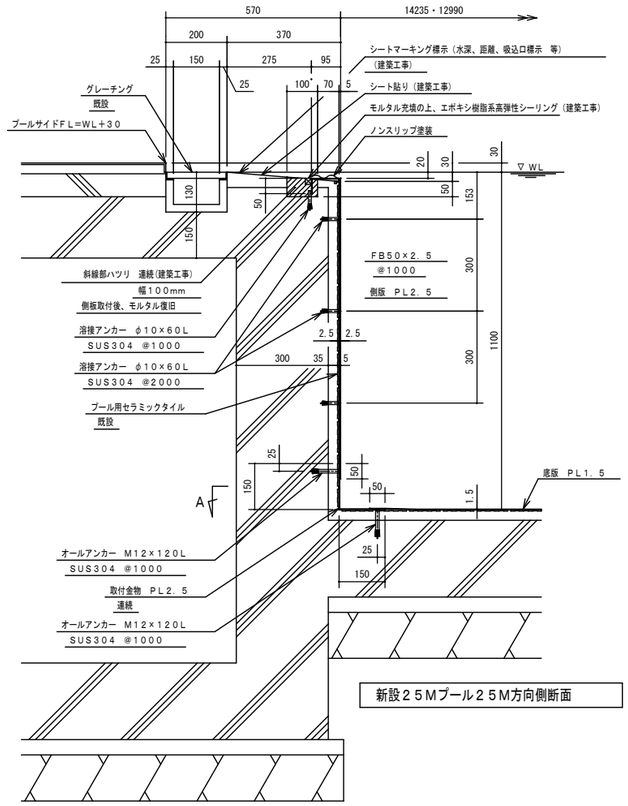
DRAWING NO. A-23



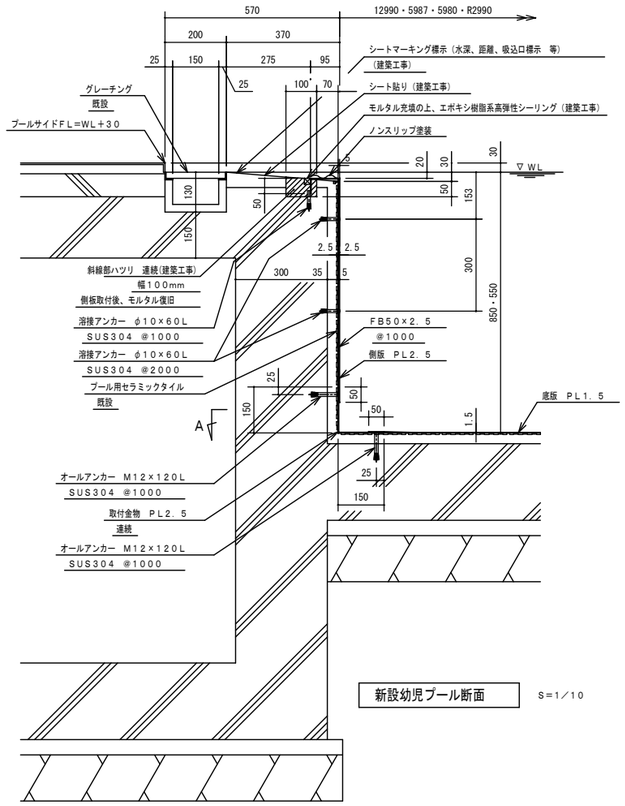


新設２５Ｍプールスタート・ターン側断面　Ｓ＝１／１０

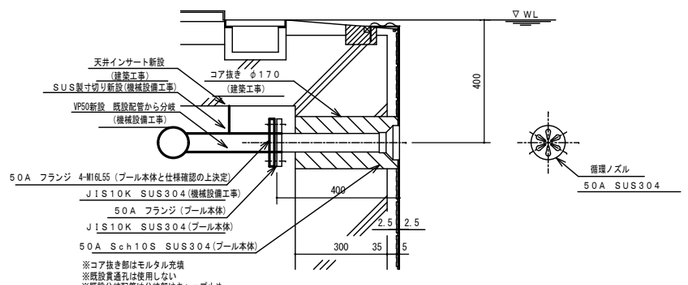




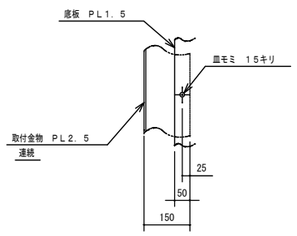
新設２５Ｍプール２５Ｍ方向側断面　Ｓ＝１／１０



新設幼児プール断面　Ｓ＝１／１０



循環ノズル部取付詳細　Ｓ＝１／１０



Ａ断面　Ｓ＝１／１０

注記．新設プール内面寸法は、全体図を参照のこと。

Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号
YARD 吉村建築設計
一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

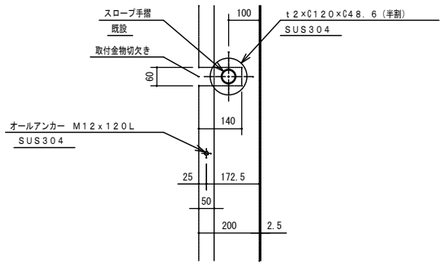
※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

DATE　DRAW　K,Yoshi　RECOGNIZE　OWNER

DRAWING NAME　既設プール全体・断面図①

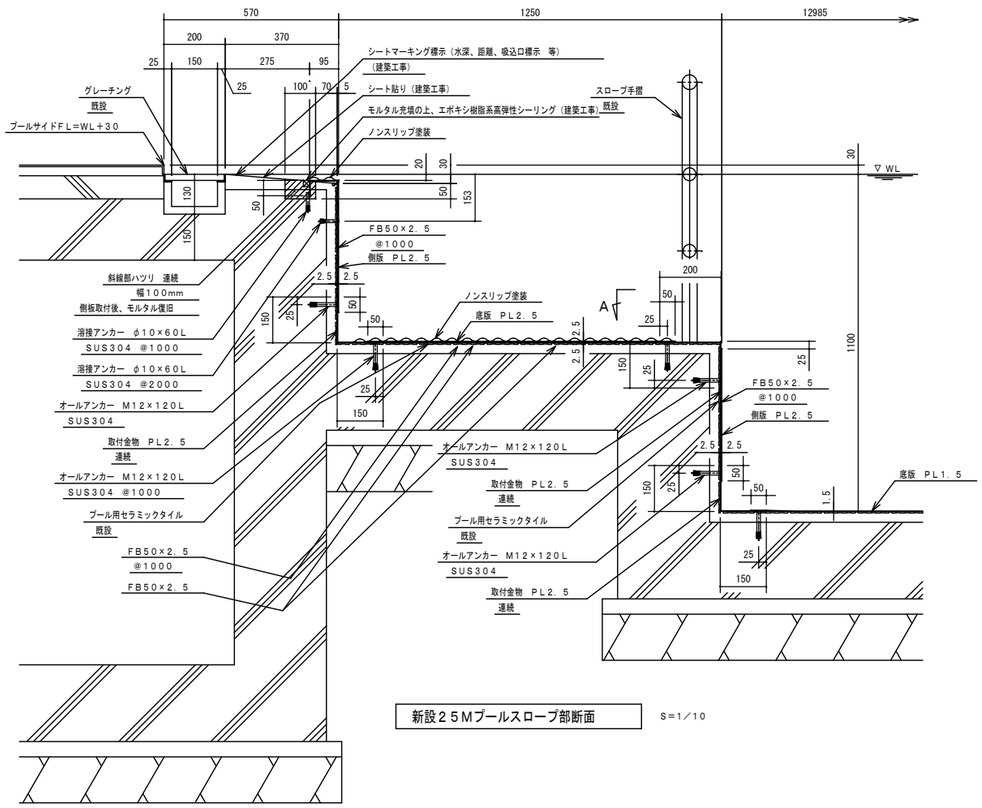
DRAWING NO.　A-24



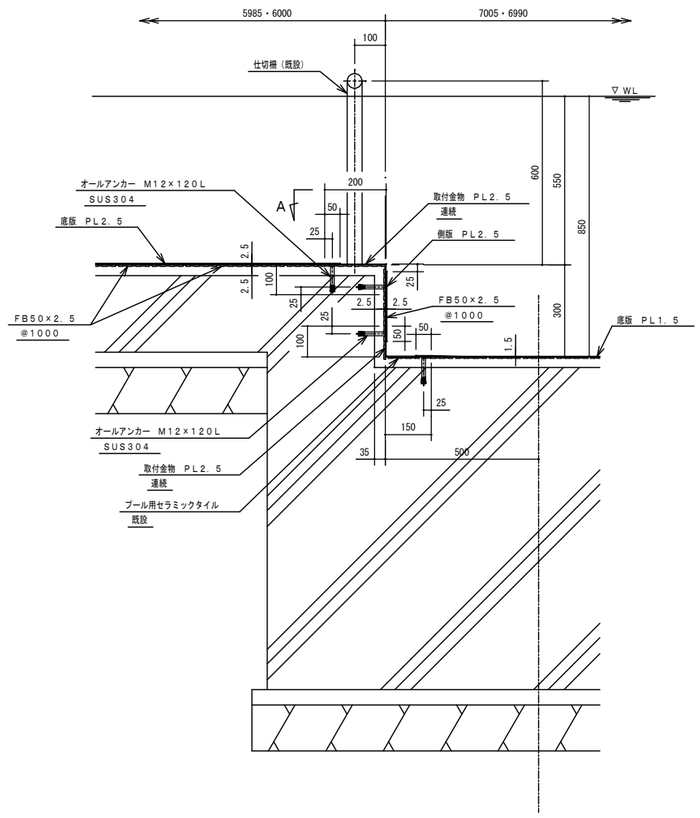
A断面　S＝1／10

図示寸法は、新設２５Ｍプールスロープ部を示す

新設幼児プール仕切柵部も準ずる



新設２５Ｍプールスロープ部断面　S＝1／10



新設幼児プール仕切柵部断面　S＝1／10

注記．新設プール内面寸法は、全体図を参照のこと。

Yoshimura Architecture RadicalDesign

一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）１５４３号

YARD 吉村建築設計

一級建築士　第２２９７６３号　吉村勝治

奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL０７４３－５７－４７５２

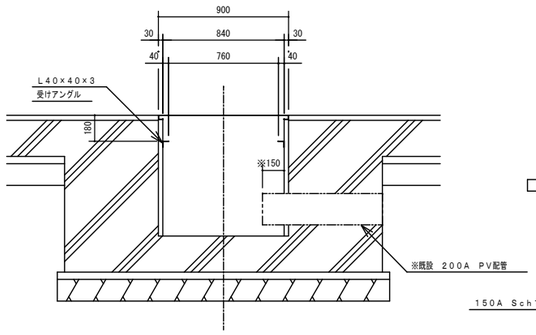
※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K,Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

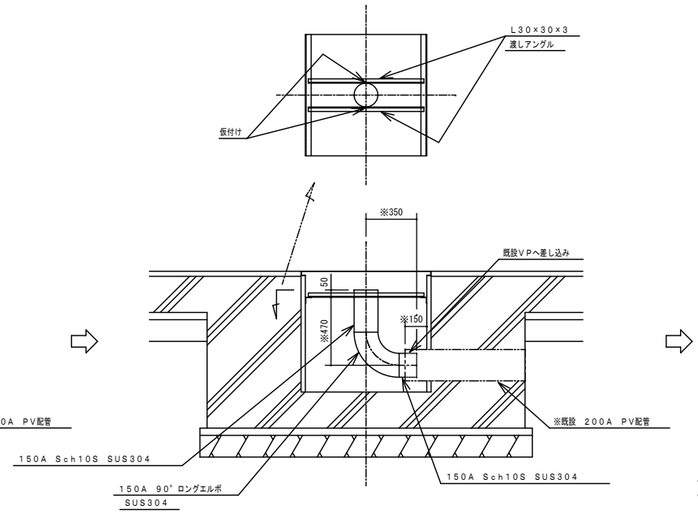
DRAWING NAME：既設プール全体・断面図②

DRAWING NO, A-25



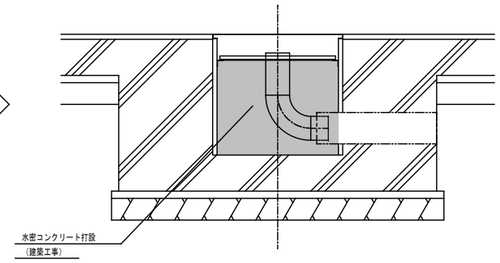
既設25Mプール排水桝断面　S=1/20

※寸法は、現場調査後決定

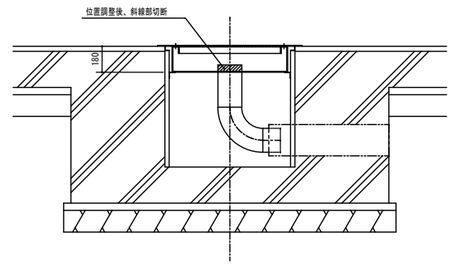


新設25Mプール排水桝仮付詳細　S=1/20

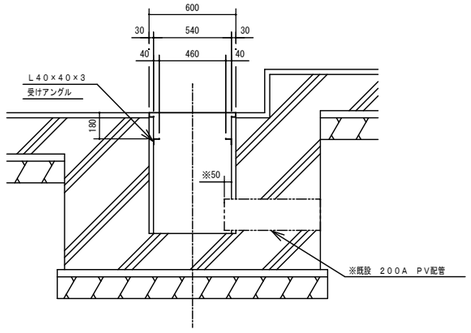
※寸法は、現場調査後決定



新設25Mプール排水桝断面　S=1/20

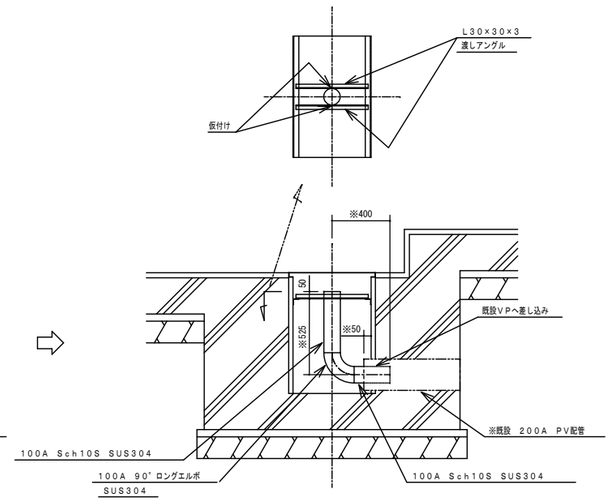


新設25Mプール排水桝取付詳細　S=1/20



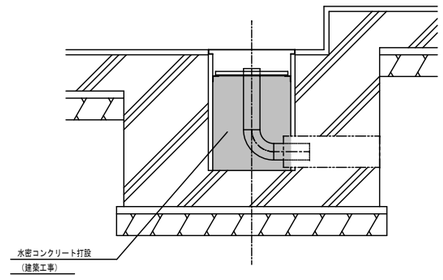
既設幼児プール排水桝断面　S=1/20

※寸法は、現場調査後決定

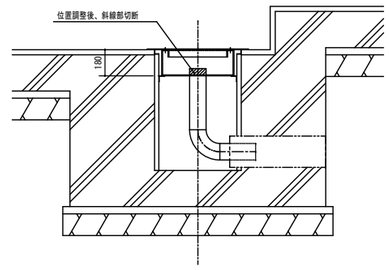


新設幼児プール排水桝仮付詳細　S=1/20

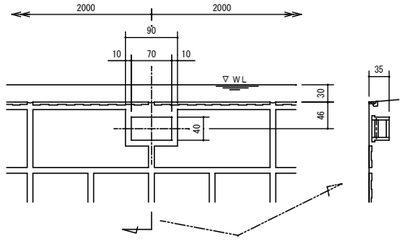
※寸法は、現場調査後決定



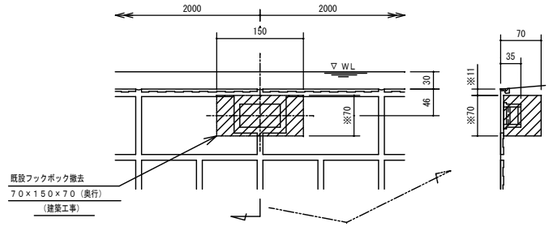
新設幼児プール排水桝断面　S=1/20



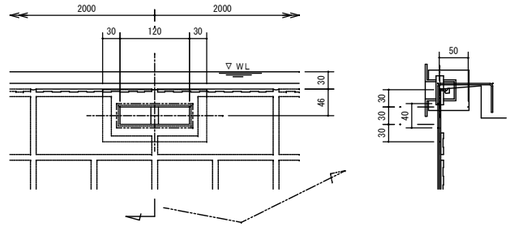
新設幼児プール排水桝取付詳細　S=1/20



既設25Mプール既設フックボックス詳細　S=1/5



既設25Mプール既設フックボックス撤去詳細　S=1/5



新設フックボックス詳細　S=1/5

※寸法は、現場調査後決定

Yoshimura
Architecture
RadicalDesign

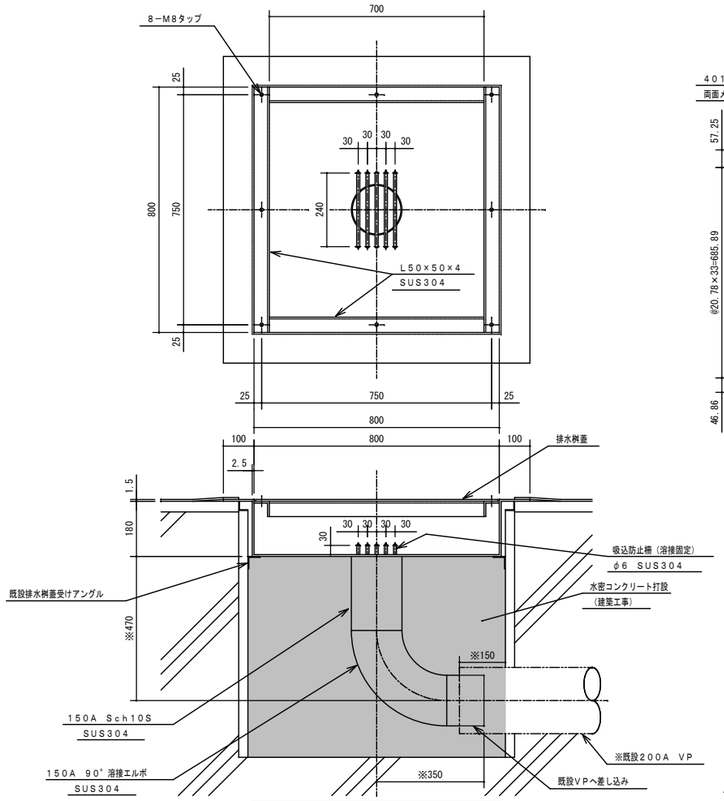
一級建築士事務所　奈良県　第2022(へ)1543号
YARD　吉村建築設計
一級建築士　第229763号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL0743-57-4752

九条公園プール更新工事　設計図

DATE　DRAW K.Yoshi　RECOGNIZE　OWNER

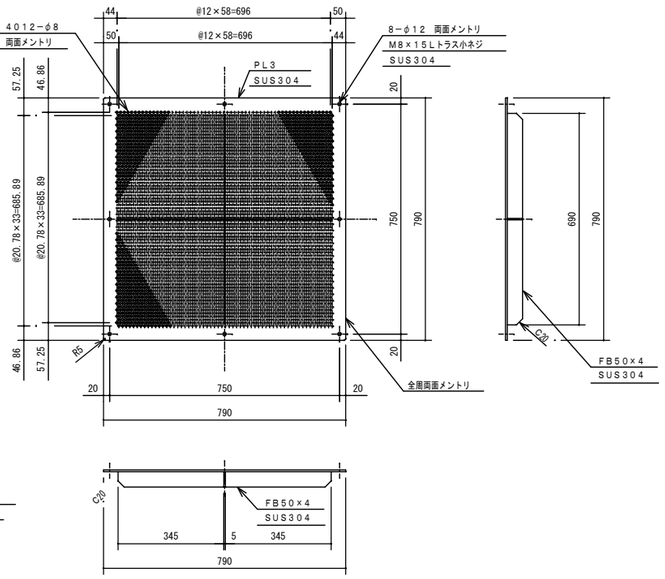
DRAWING NAME　既設プール全体・断面図③

DRAWING NO. A-26

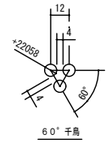


新設25Mプール排水桝取付詳細　S＝1／10

※寸法は、現場調査後決定

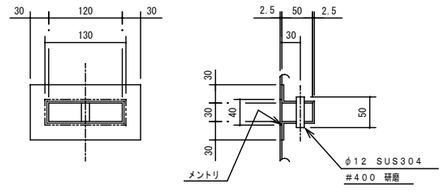


新設25Mプール排水桝蓋詳細　S＝1／10



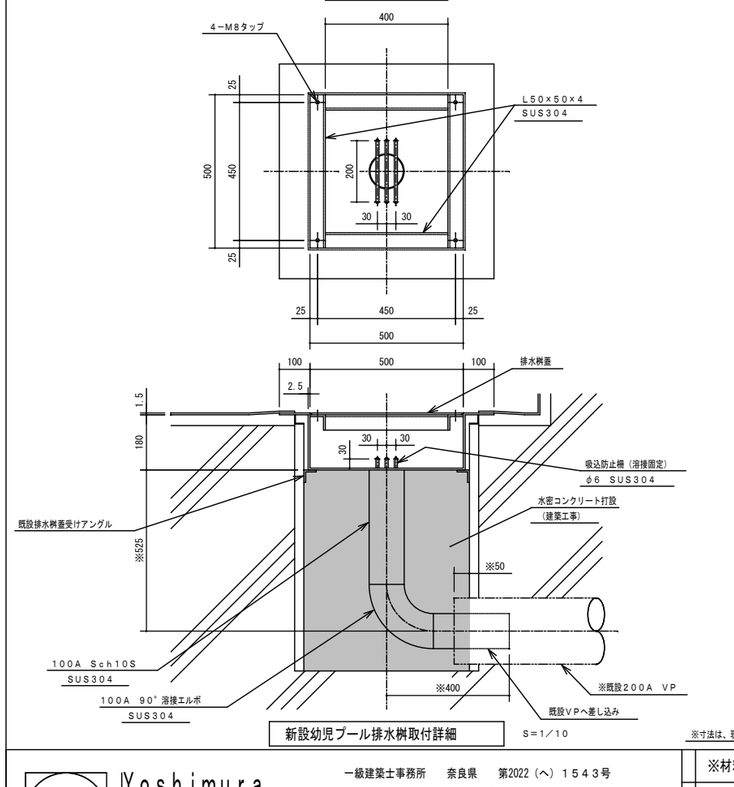
60°千鳥

排水桝蓋パンチング穴詳細　S＝1／2



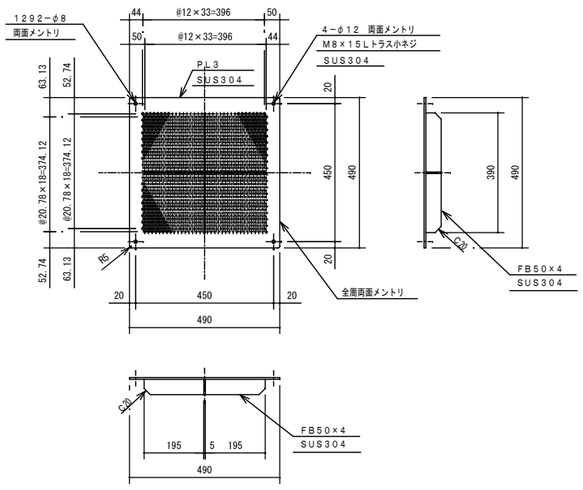
新設フックボックス詳細　S＝1／5

数量 ： 14個

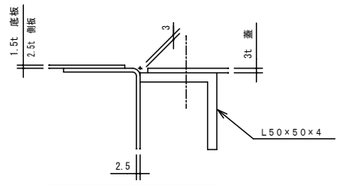


新設幼児プール排水桝取付詳細　S＝1／10

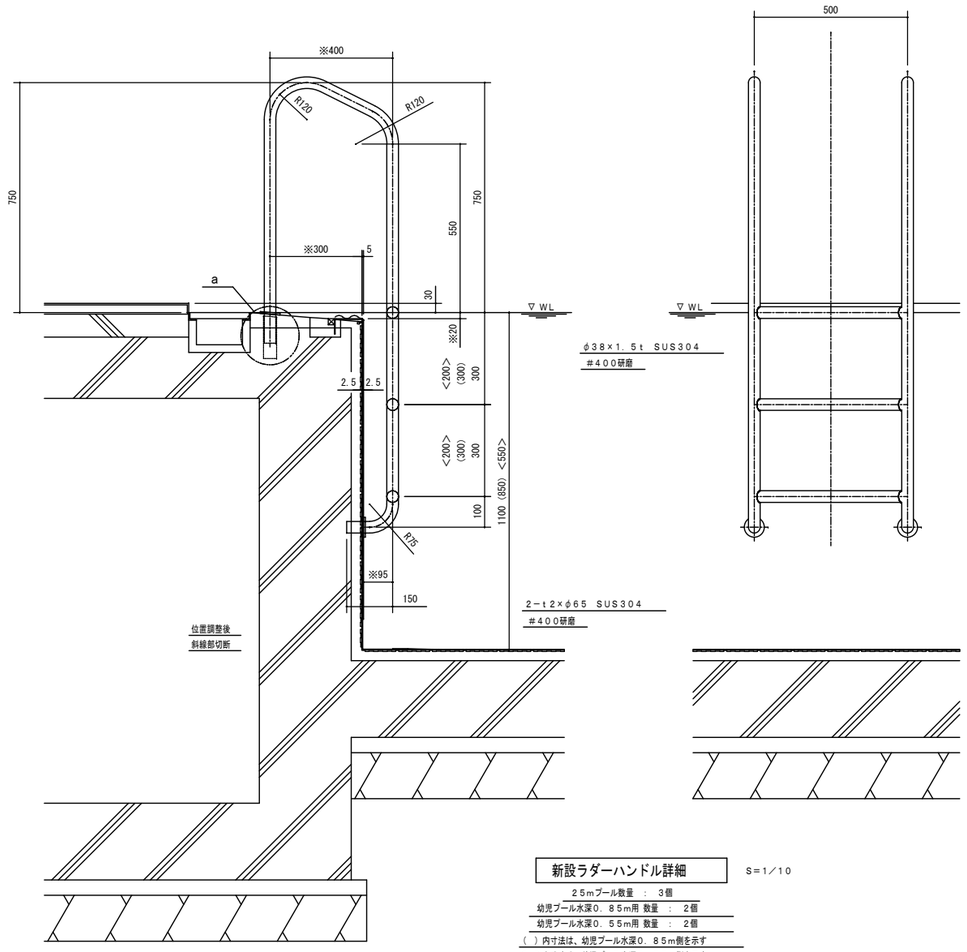
※寸法は、現場調査後決定



新設幼児プール排水桝蓋詳細　S＝1／10



桝周りFB取付詳細図　S＝1／2



新設ラダーハンドル詳細　S＝1／10

25mプール数量 ： 3個
幼児プール水深0．85m用 数量 ： 2個
幼児プール水深0．55m用 数量 ： 2個
（ ）内寸法は、幼児プール水深0．85m側を示す
< >内寸法は、幼児プール水深0．55m側を示す
※寸法は、現場調査後決定

Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）1543号
YARD吉村建築設計
一級建築士　第229763号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL0743−57−4752

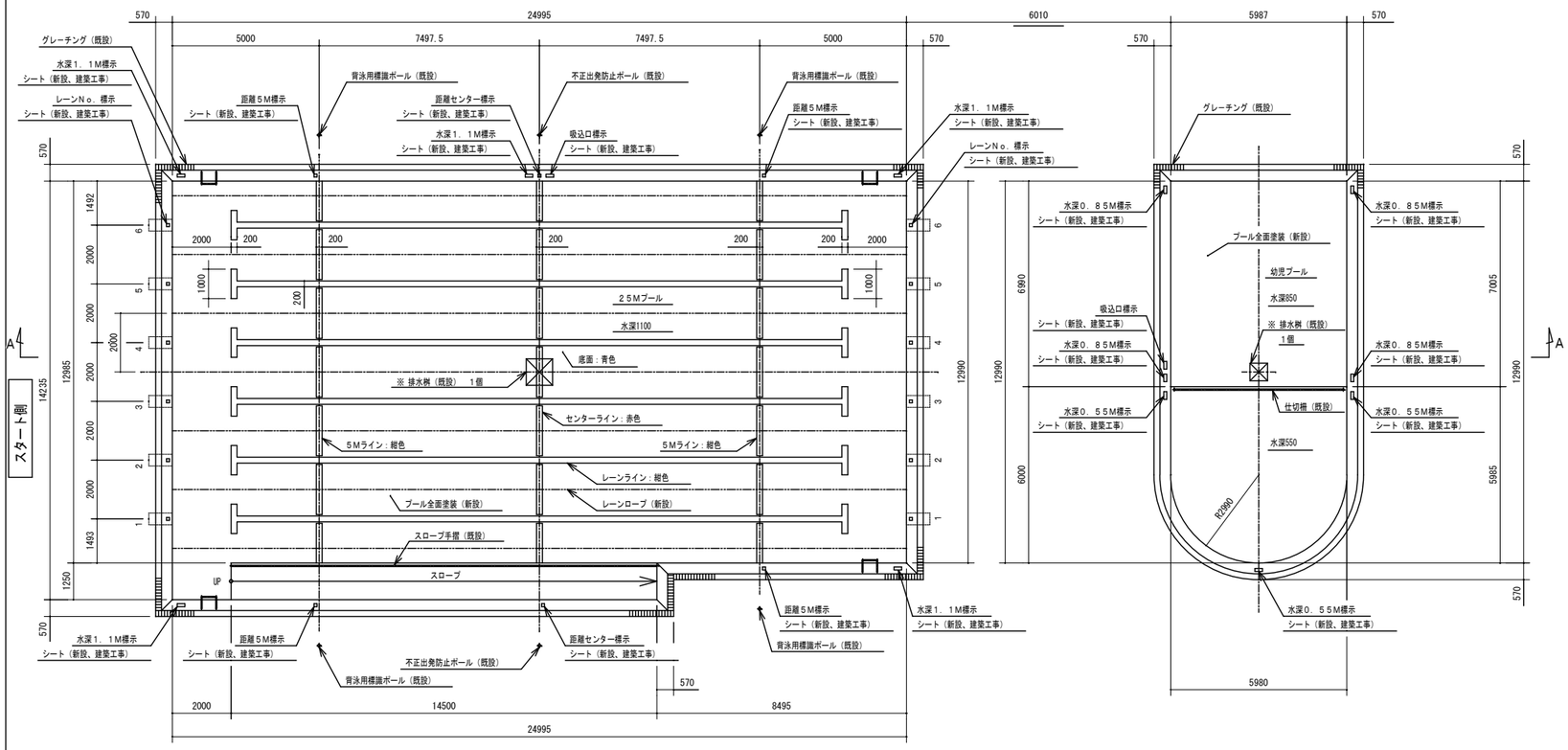
※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

DATE	DRAW K.Yoshi	RECOGNIZE	OWNER

DRAWING NAME：部品図

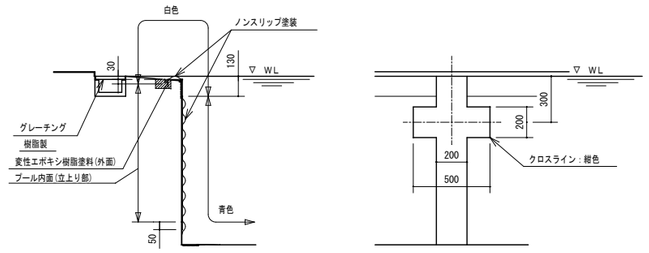
DRAWING NO. A-27



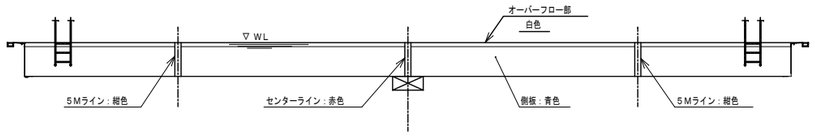
新設プール塗装仕様書　S＝1／100

塗装プール塗装仕様書			
塗　装		プール内面	
		素地調整	ケレン　脱脂
		下塗プライマー	エポキシ樹脂塗料　1　回塗
		中　塗	エポキシ樹脂塗料　1　回塗
		上　塗	アクリルウレタン樹脂塗料　2　回塗
		合計膜厚　110μ以上	
		プール外面（底板下面を除く）	
		変性エポキシ樹脂塗料　1　回塗	
		合計膜厚　300g/m²以上	
塗装色	青色（日塗工NO．P69－60L）	底板、側板	
	白色（日塗工NO．PN－95）	オーバーフロー部	
	緋色（日塗工NO．P75－30P）	クロス、レーン、5Mライン、スロープ踏面	
	赤色（日塗工NO．P07－40X）	センターライン	
ノンスリップ塗装		オーバーフロー部、端壁部側面、スロープ踏面	

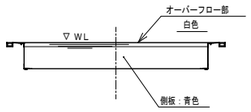
注記．塗装色は日塗工NO．2024年度P版とする

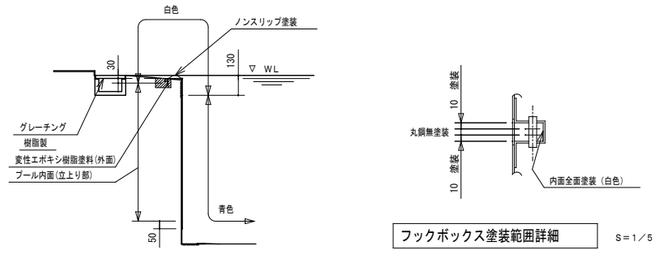


スタート・ターン側断面　S＝1／20



A－A断面　S＝1／100

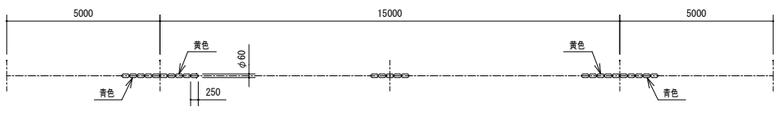




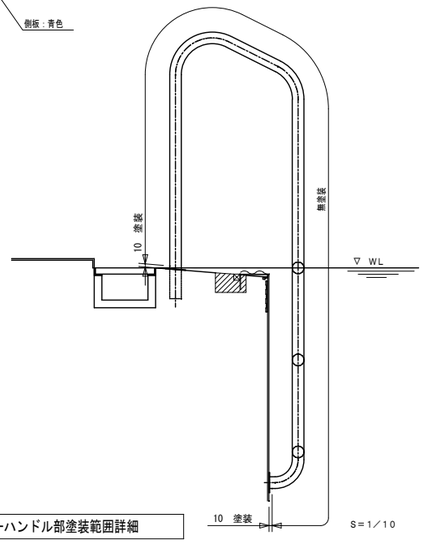
２５M方向断面　S＝1／20

幼児プールも準じる

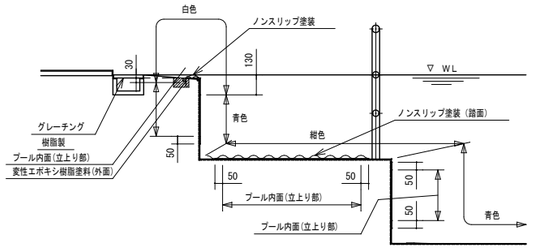
フックボックス塗装範囲詳細　S＝1／5



レーンロープ詳細　S＝1／100



ラダーハンドル部塗装範囲詳細　S＝1／10



スロープ部断面　S＝1／20

注記。※印の排水桝部については現地調査の上、決定致します。

Yoshimura Architecture RadicalDesign
一級建築士事務所　奈良県　第2022（へ）1543号
YARD吉村建築設計
一級建築士　第229763号　吉村勝治
奈良県大和郡山市本庄町329-1　TEL0743－57－4752

※材料選定においては電食に注意する事

九条公園プール更新工事　設計図

DATE　DRAW　K, Yoshi　RECOGNIZE　OWNER

DRAWING NAME　塗装仕様書

DRAWING NO.　A-28